

## 添付資料2 「和泉本町・西野川・東野川エリア 買い物に関するアンケート」の分析結果（詳細版）

### グラフ等の参照に関する注意事項

#### 無回答について

- ・無回答は各設問ごとに集計対象から除いているため、回答数は設問ごとに異なっている。

#### 世帯構成について

- ・質問では世帯構成が細分化されていたが、分析を容易にするために、「一人暮らし」、「配偶者と同居」、「家族と同居」、「親と同居」の四種類に集約した。
- ・「配偶者と同居」は配偶者とのみ同居の世帯を意味する。
- ・「家族と同居」は、配偶者同居の有無に関わらず、子または/および孫の同居を伴う世帯を意味する。
- ・「親と同居」は配偶者や子・孫等との同居の有無に関わらず、親の同居を伴う世帯であり、「親を介護」を含む。

#### 店舗名について

- ・店舗名は回答による表現のブレを考慮して名寄せし、標準的な店舗名に統一した。名寄せにあたっては一部を推測している（たぶち⇒たぐちフーズ）
- ・また、オーケー、小田急OX等には、回答に支店名がついている場合があったが、大部分はついていないため、支店名は無視しブランド名のみで区別している（ex. オーケー狛江とオーケー中和泉はオーケーに合算。小田急OX狛江と小田急OX成城は小田急OXに合算。なお、1件だけあった「オーケー狛江店、中和泉」は便宜的にオーケー1店舗として扱った。）
- ・生協には多くのブランドがあるが、まとまりとしての生協宅配の意味が大きいと考え、「生協」としてまとめている。
- ・Amazonはブランドの影響力を考慮して、他のネット通販と区別している。

#### 棒グラフ中の数字

- ・棒グラフ中の数字は回答数の実数である（パーセンテージではない）。

#### ツリーマップ

- ・四角の集合で示されるツリーマップを問6-②、問6-③、問10、問11-②に用いた。これは、複数選択で回答の選択肢が多い場合、回答全体に対数する個々の回答比率を表すために用いている（複数選択の場合には円グラフは不相当とされている）。ツリーマップは棒グラフの凡例の役割も兼ねている。

#### 回答数

- ・ページやグラフの左下隅に「回答数」と書いた小さな四角が置いているが、これは、その設問における有効な回答数を表している。単一選択の場合、無回答があると回答数は全体の回答人数（307人）より少ない数になる。複数選択可能な場合には、選択された選択肢の数をカウントしている（例：二つ選択したら、回答数は二つ）ため、回答数は回答人数を上回る場合がある。

#### グラフの凡例

- ・円グラフと棒グラフが併記されているページでは、凡例は円グラフのみに示した。ページ内では凡例の色は統一されているため、棒グラフの凡例は円グラフの凡例を参照されたい。

#### 問12における一部回答の除外

- ・問12は質問文に曖昧さがあったため、回答者が質問意図を誤解して、単に利用している店舗のみが答えられている回答や、趣旨とは異なる回答が含まれていた。これらの回答は除外した上で、集計した。

#### 問12・問13の集計方法

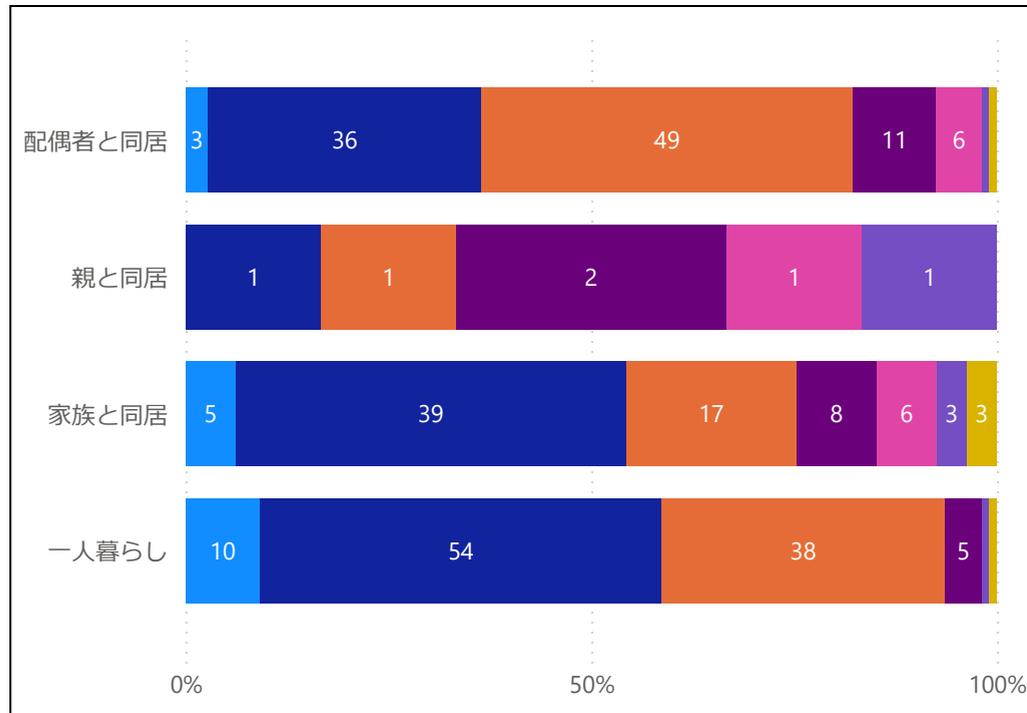
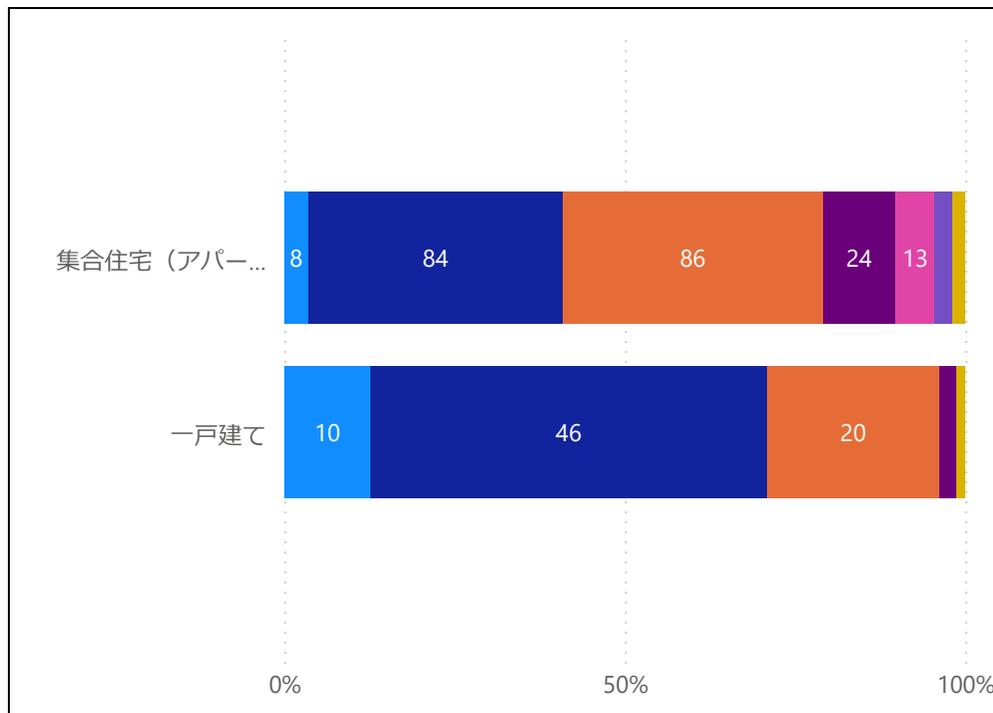
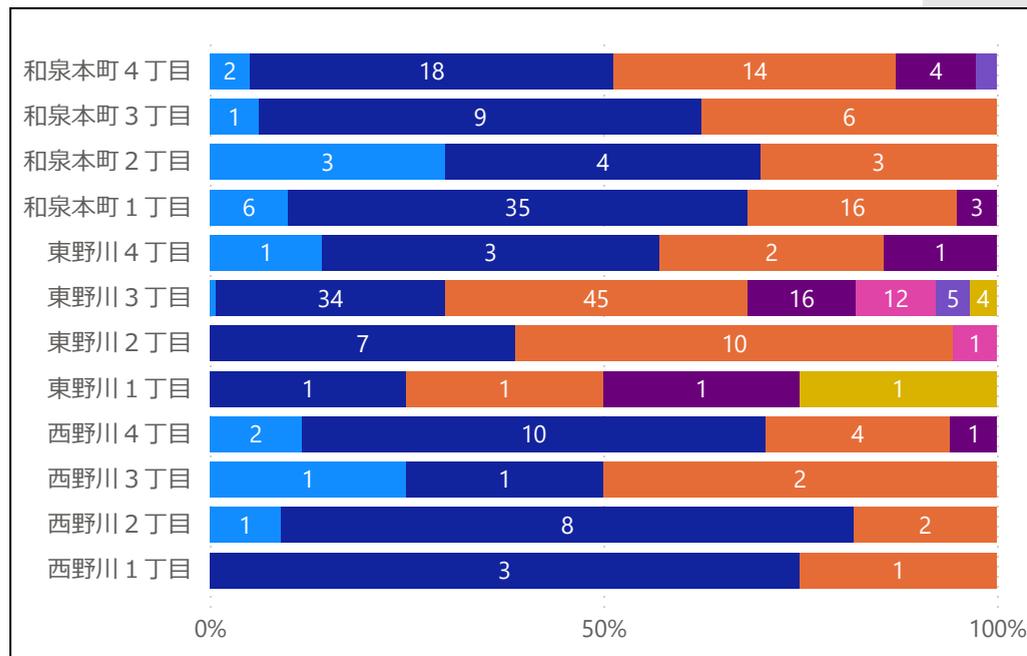
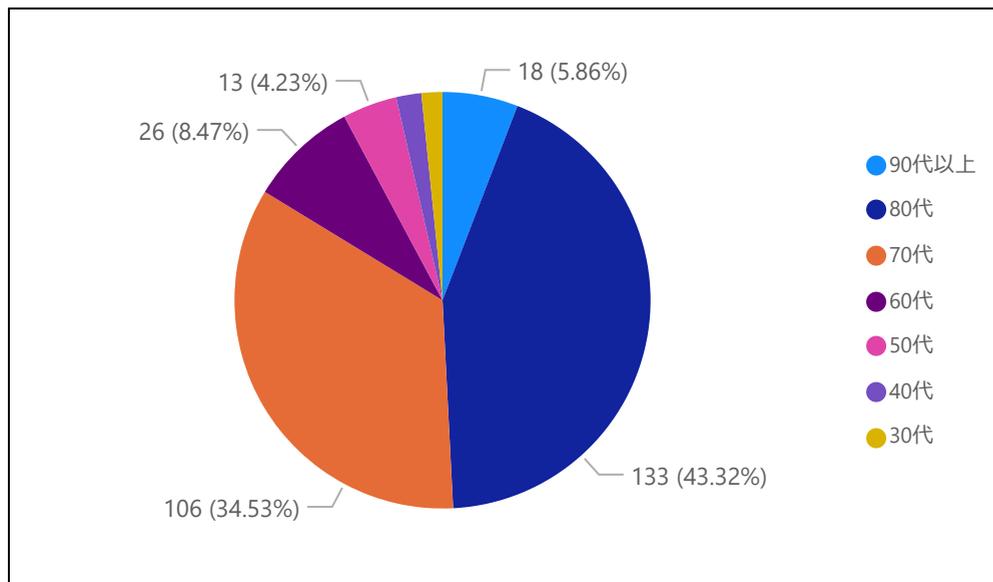
- ・問12・問13では、回答内容に基づいて回答をカテゴリ分けし、カテゴリごとの件数を集計した。この際、一人の回答者から複数のサービス・店舗等が回答されている場合には、回答を分割して複数回答として扱った。

#### その他

- ・アンケート全体に関わる留意事項については、調査報告本紙4章を参照されたい。

【問1】 あなたの年齢を教えてください。

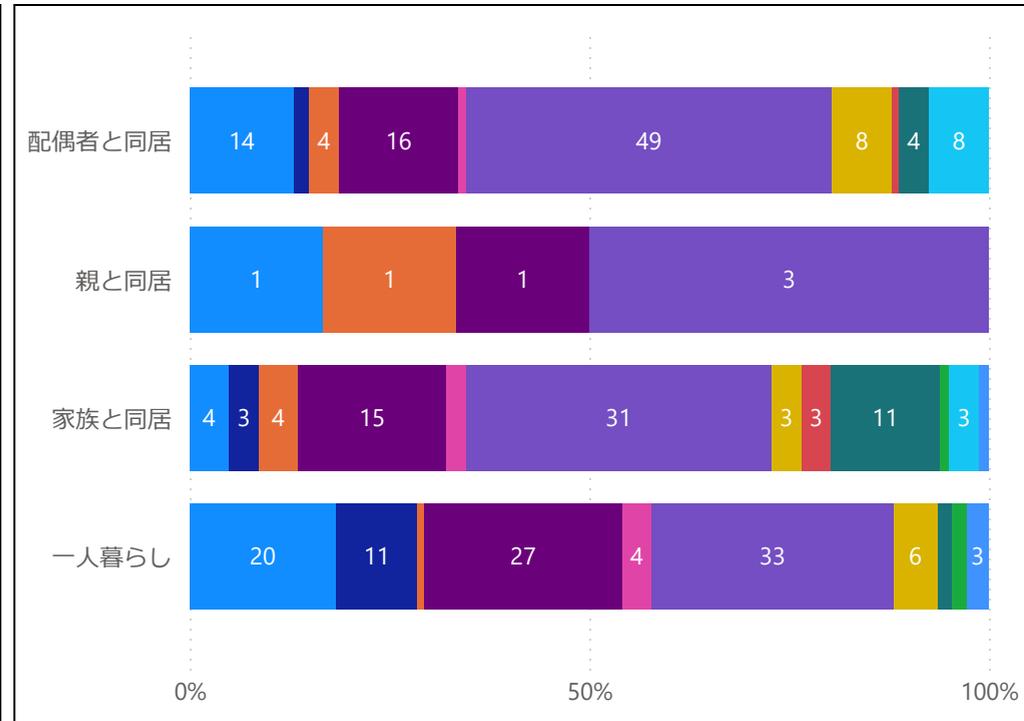
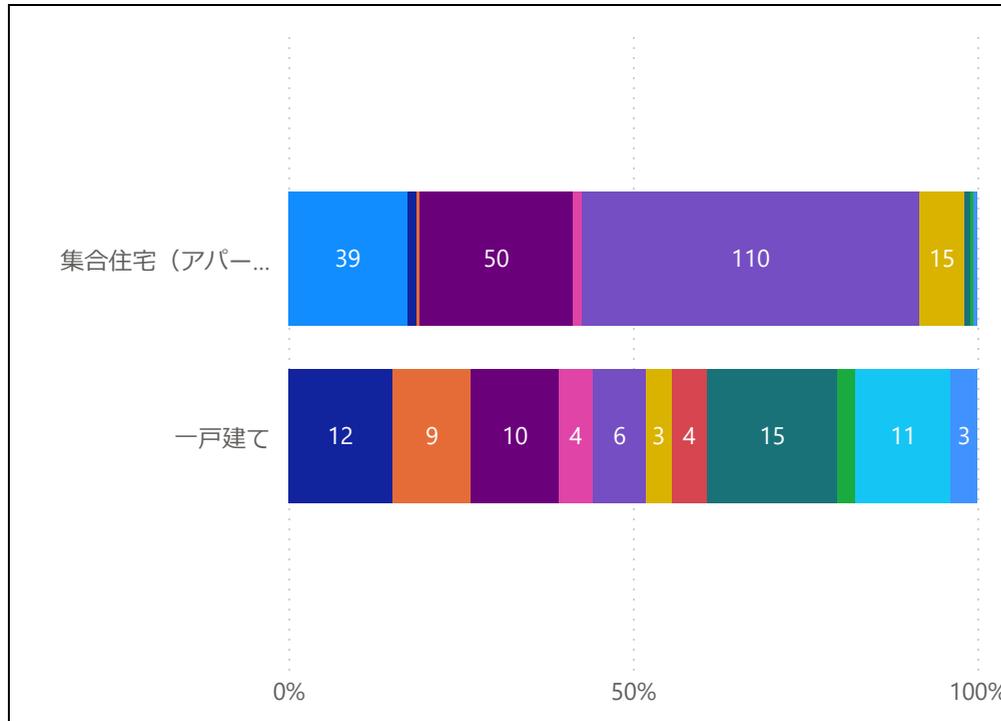
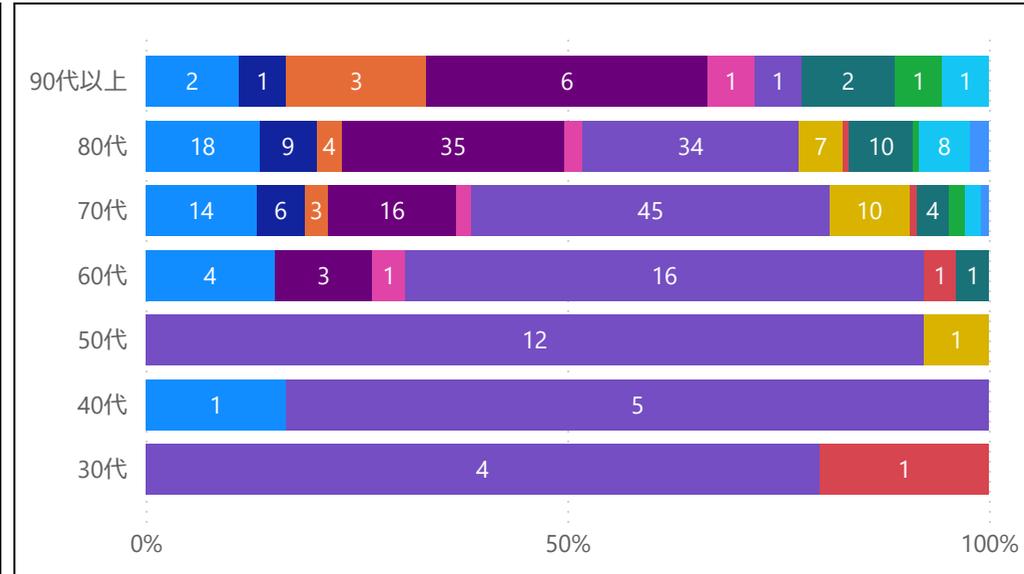
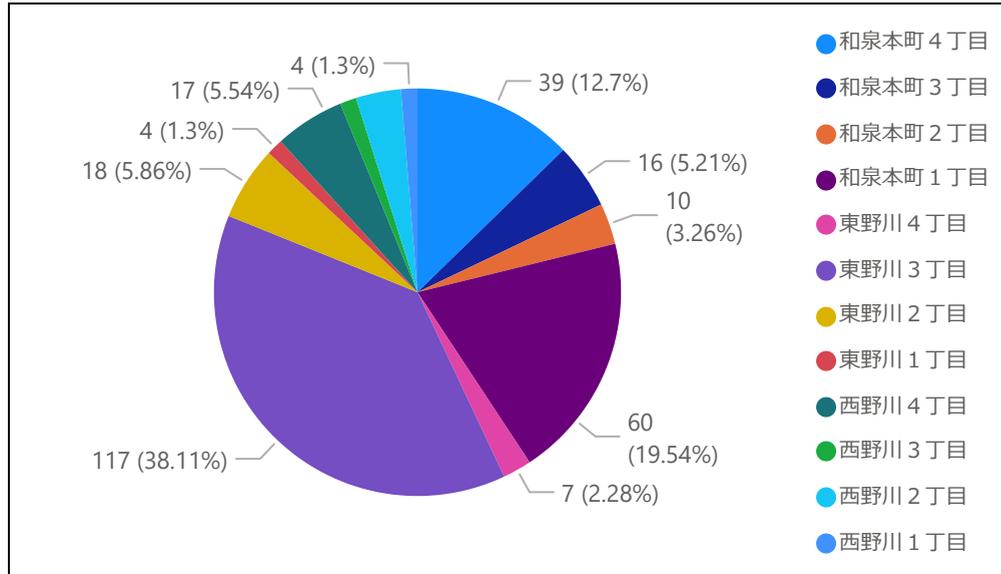
- ・70代以上の高齢者が84%を占めている。
- ・居住地域による年齢構成の違いが見られる。これには、団地・大型マンション等の有無、建設時点、一戸建ての比率、アンケート回収経路の違い等が影響していることが考えられる。
- ・一戸建てでは、集合住宅に比べて、年齢が全体的に高くなっている。
- ・家族や配偶者と同居している場合に比べて、一人暮らしの方が高齢者の比率が高い。



【問2】お住まいの地域はどちらですか。

・東野川3丁目、和泉本町1丁目、和泉本町4丁目の比率が高い。これは、アンケートの収集方法に起因して、収集地域が偏ったことが原因と考えられる。

・年齢による居住地の偏りが顕著に見られる。特に、東野川3丁目には若い世代が多く、和泉本町1丁目には高齢の世代が多い。東野川3丁目では若い世代が多いことには、狛江ハイタウンの全戸配布が影響しているものと考えられる。



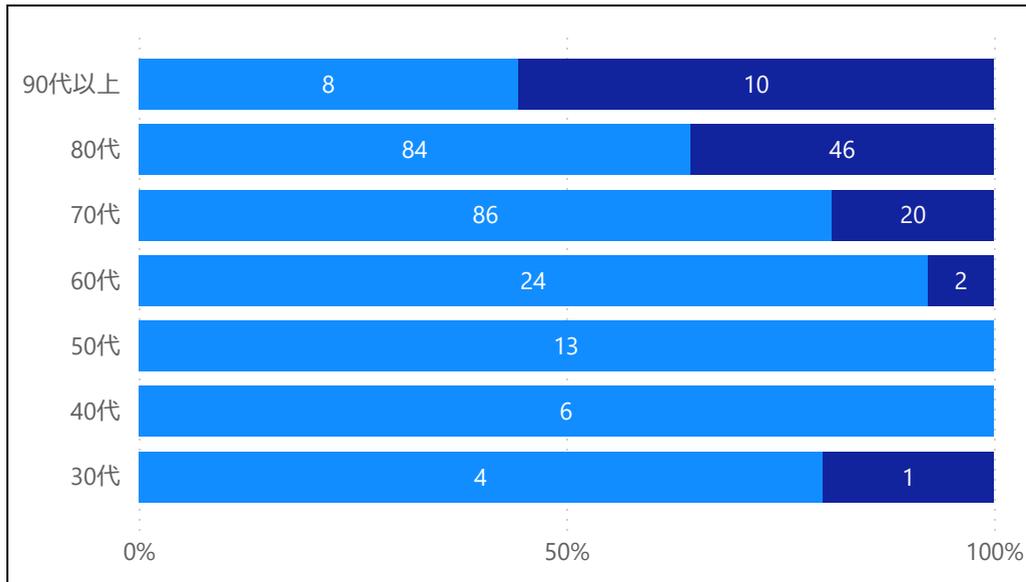
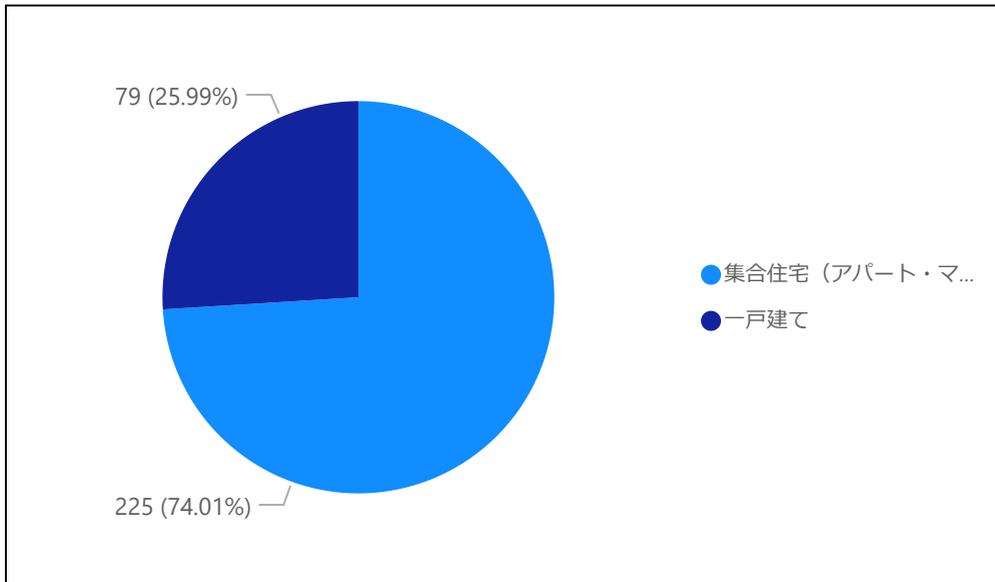
回答数  
307

【問3】お住まいは以下のどれに当てはまりますか。

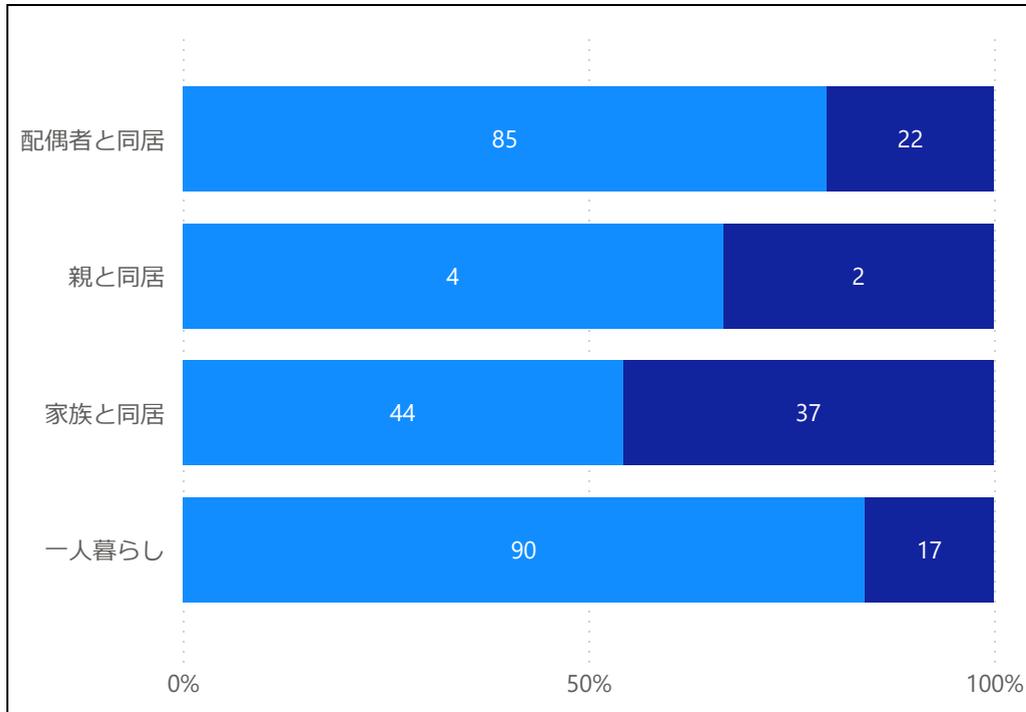
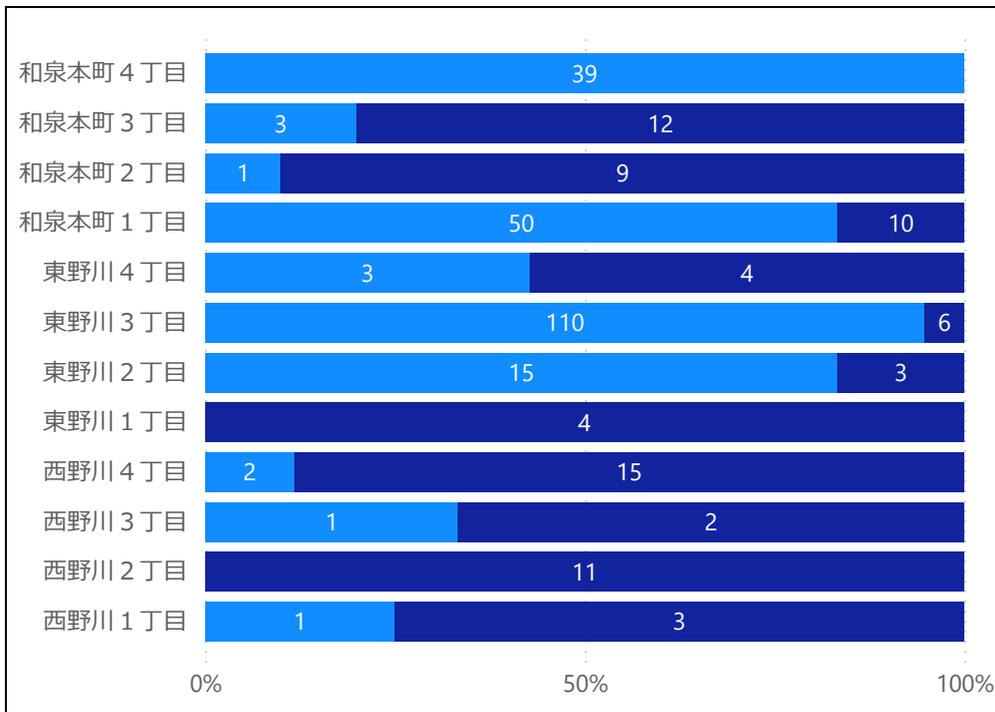
・全体の74%を集合住宅（アパート、マンション等）が占めている。これはアンケートの配布・回収経路が影響していると考えられる。

・年齢が上がるほど、一戸建ての比率が高くなる。

・集合住宅の比率に居住地による顕著な違いがある。これは、大型の集合住宅の有無や建設時期、アンケートの配布・回収経路等が影響している可能性がある。



・「一人暮らし」、「配偶者と同居」では、集合住宅の比率が高い。



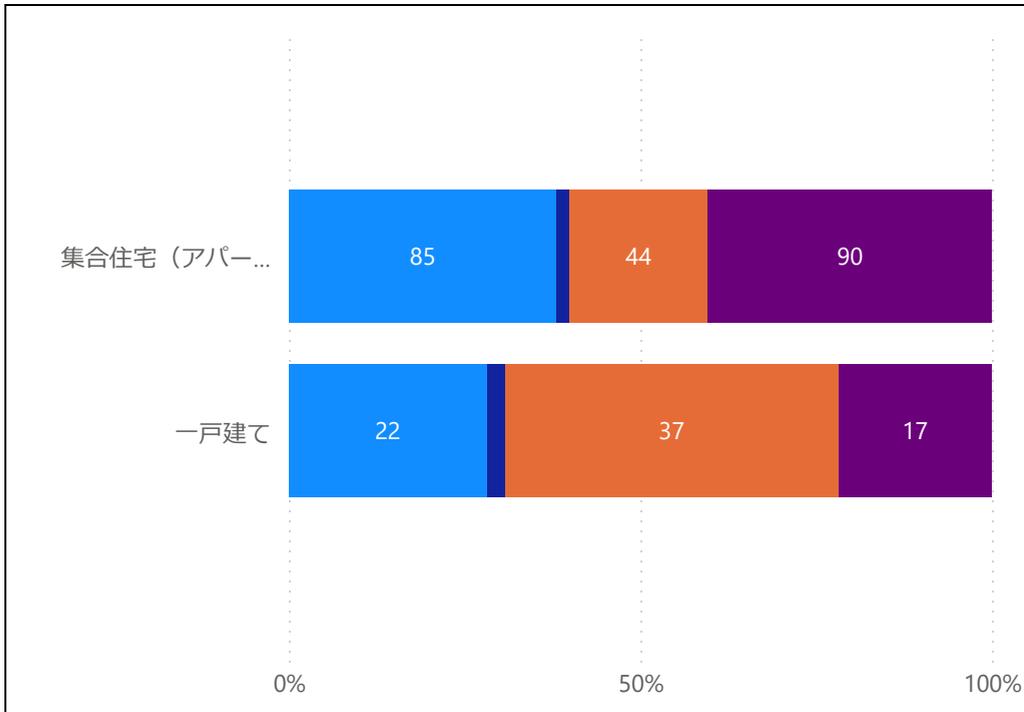
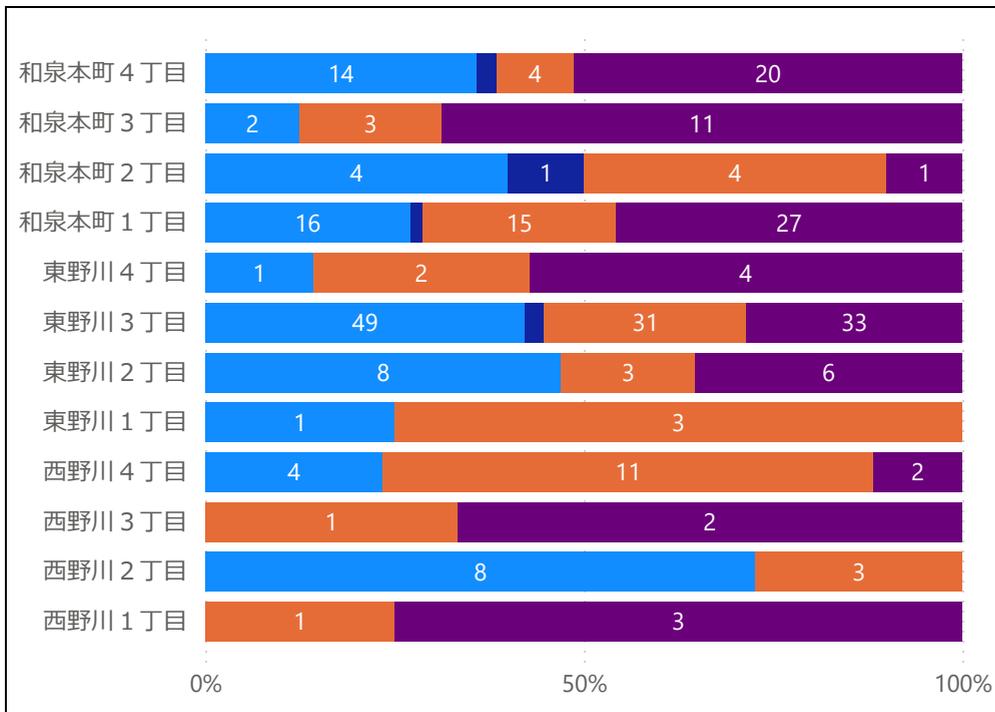
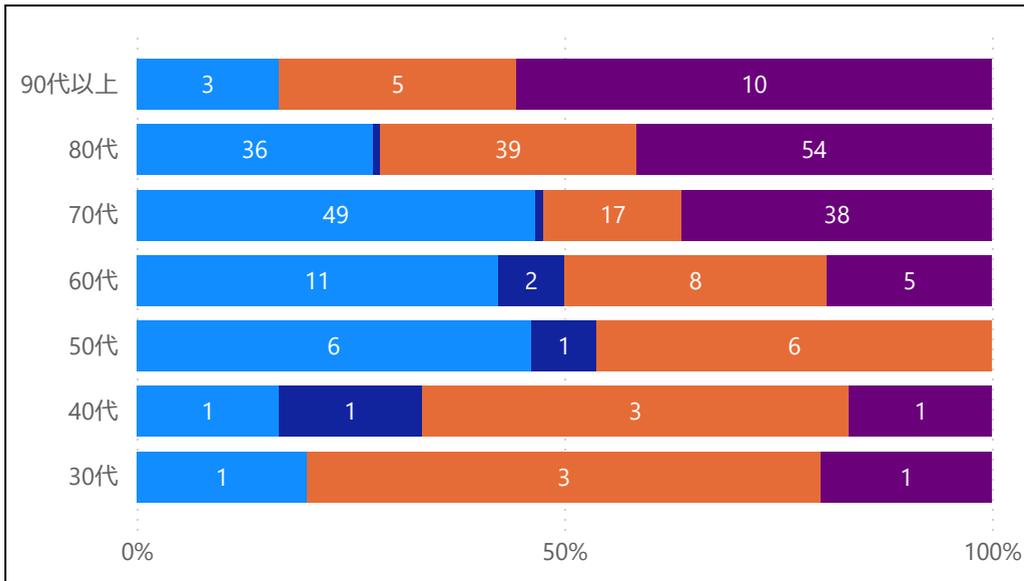
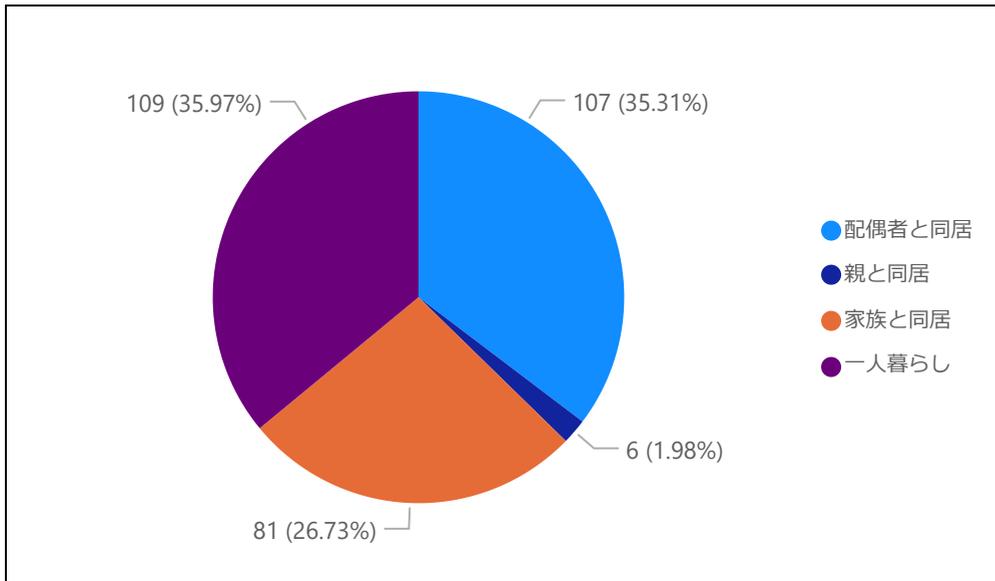
回答数  
304

・「一人暮らし」が最も多く36%、次いで「配偶者と同居」が35%、「家族と同居」が27%という順となっている。この結果には、アンケートの配布・回収経路が影響している可能性もある。

・年齢による世帯構成の変化が顕著である。一人暮らしの比率を見ると、30代から年齢が上がるに従って低くなるが、50代を底として、高齢者となるほど増加し、90代では、56%と半数を超える。

・居住地による世帯構成の違いが顕著である。これには、居住地による住居形式の違いや、年齢構成の違いが影響しているものと考えられる。

・一戸建てに比べて、集合住宅においては家族と同居の割合が低い。



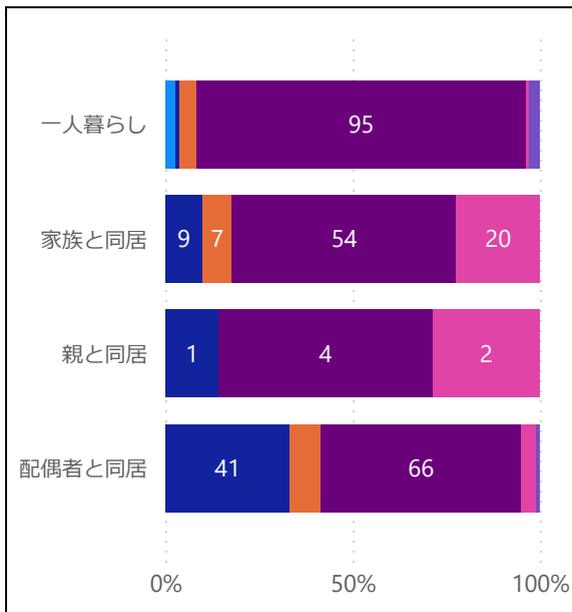
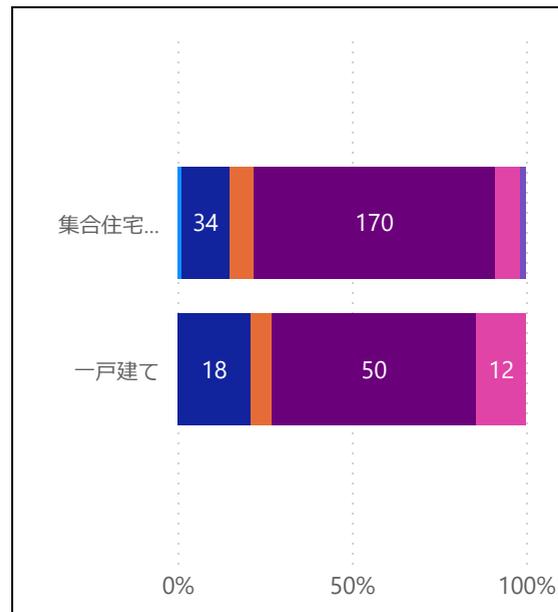
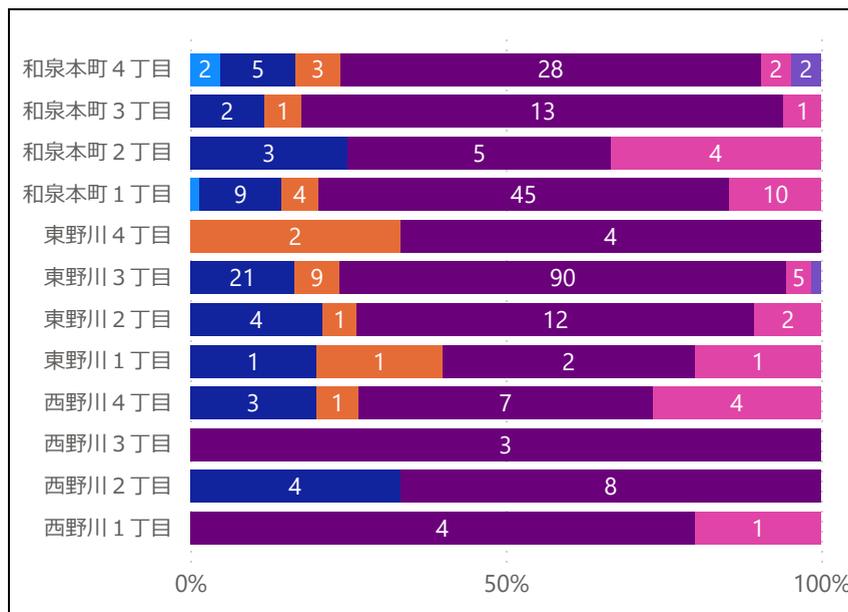
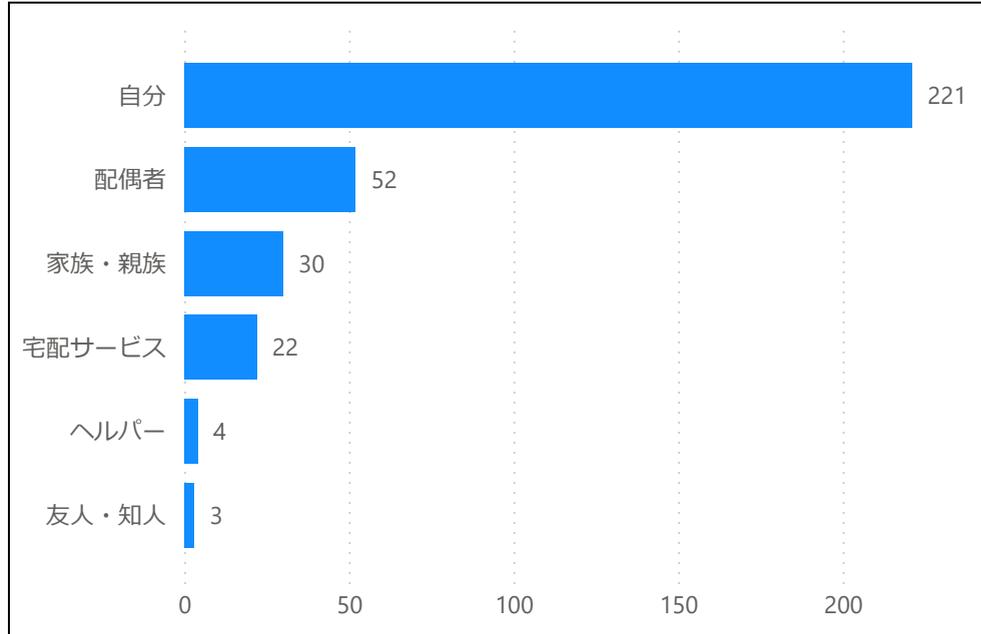
・自分で買いに行く人が多数を占め、次いで配偶者、家族・親族の順となる。

・高齢者では、年齢が上がるとともに、買い物における家族・親族への依存が強まり、90代で急増している。

・居住地によって、自分で買い物をする人の割合にかなりの違いが見られる。ただし、これには、サンプルの偏りが影響している可能性がある。

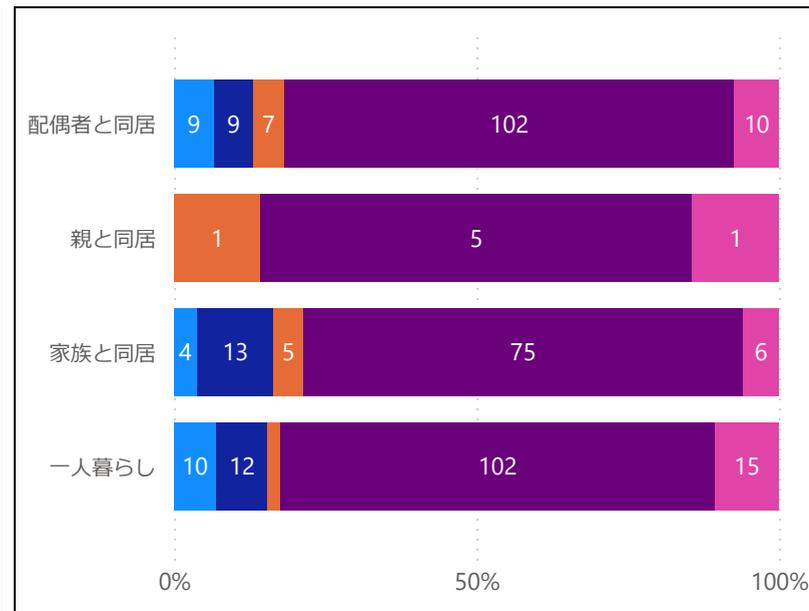
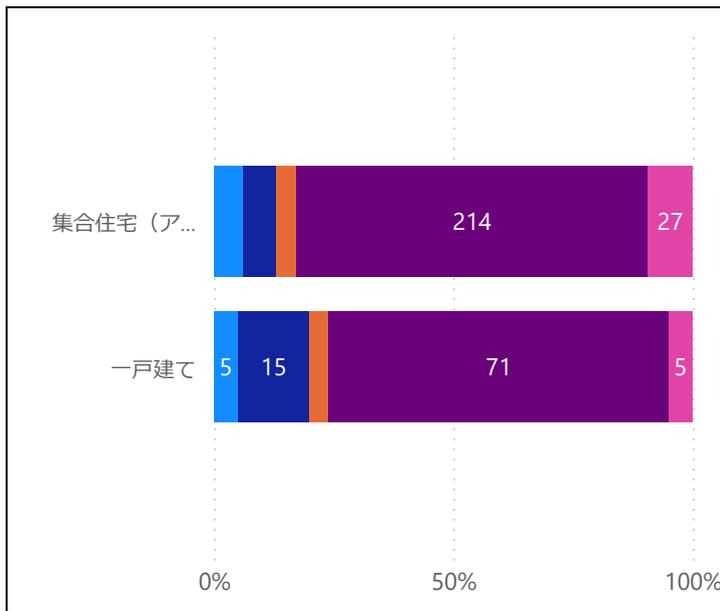
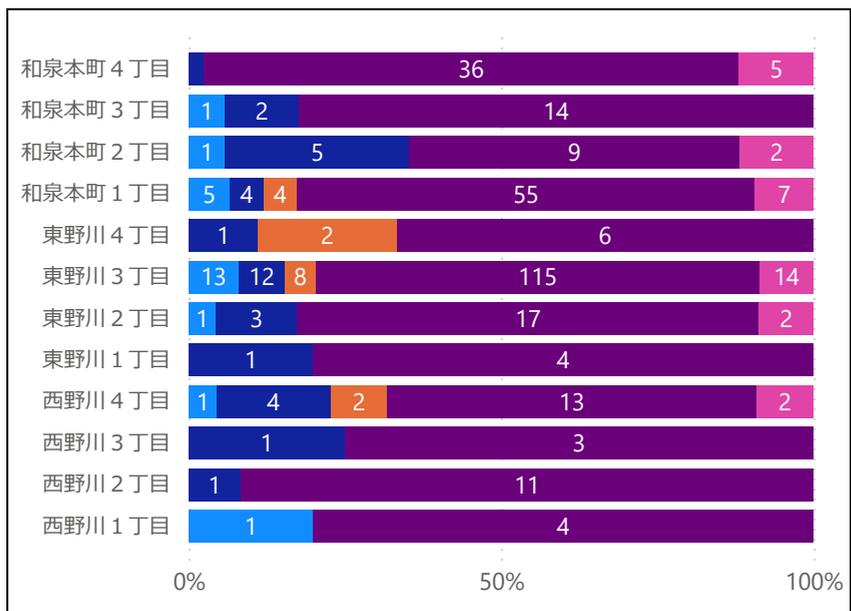
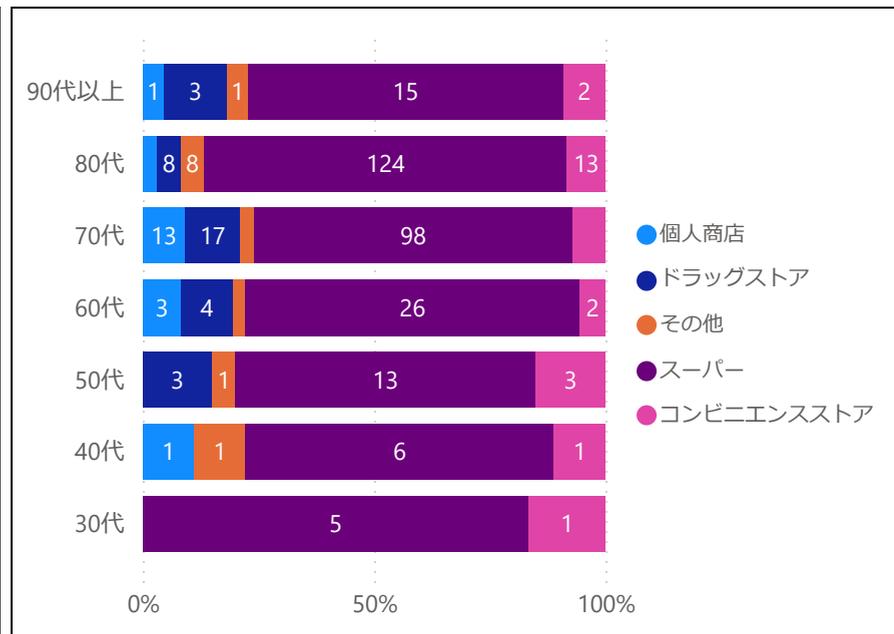
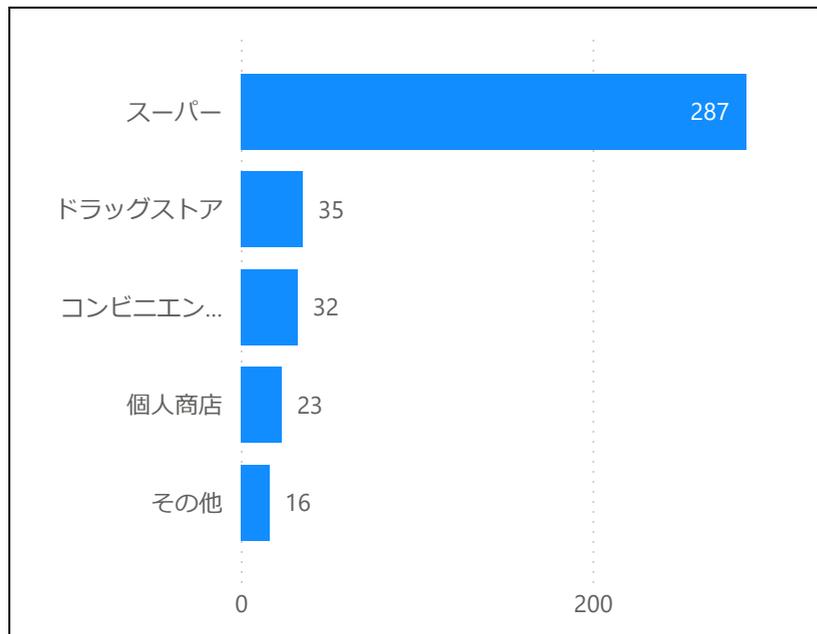
・一戸建てより集合住宅で、自分で買い物する割合が高い。これは、一人暮らしの多さを反映している可能性がある。

・一人暮らしの場合には、自分で買い物する割合が高い。一方、配偶者と同居の場合には、配偶者が買い物する割合が高い。



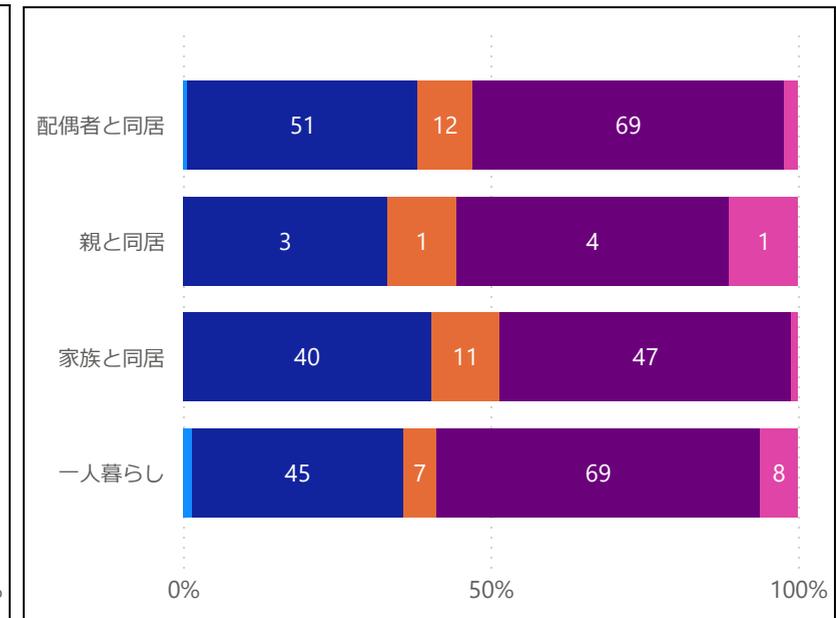
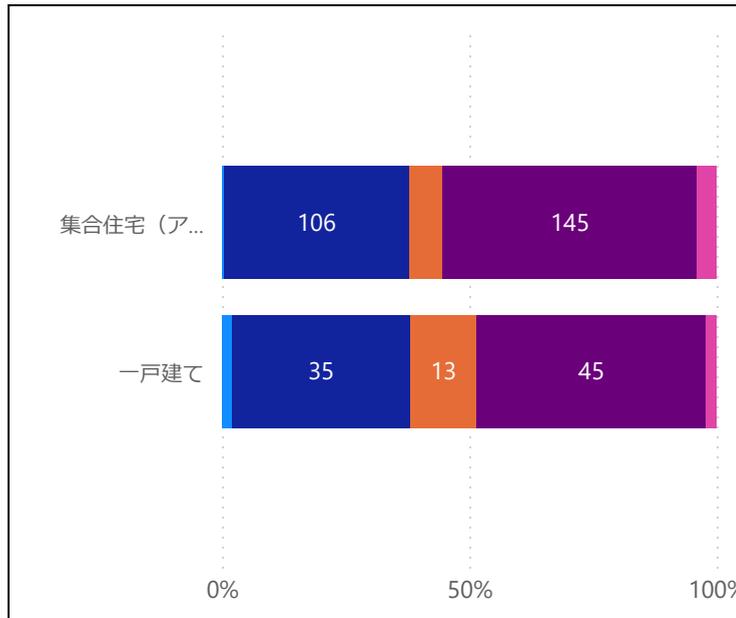
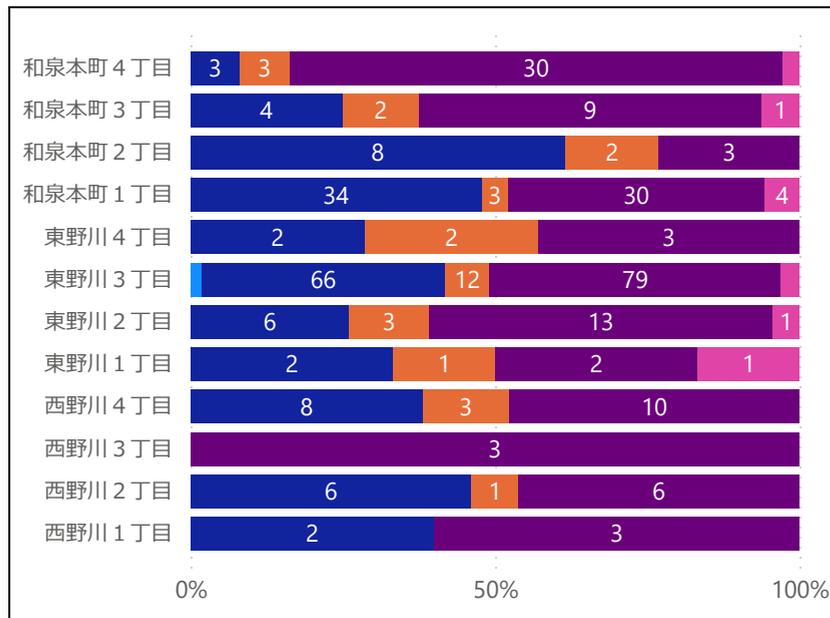
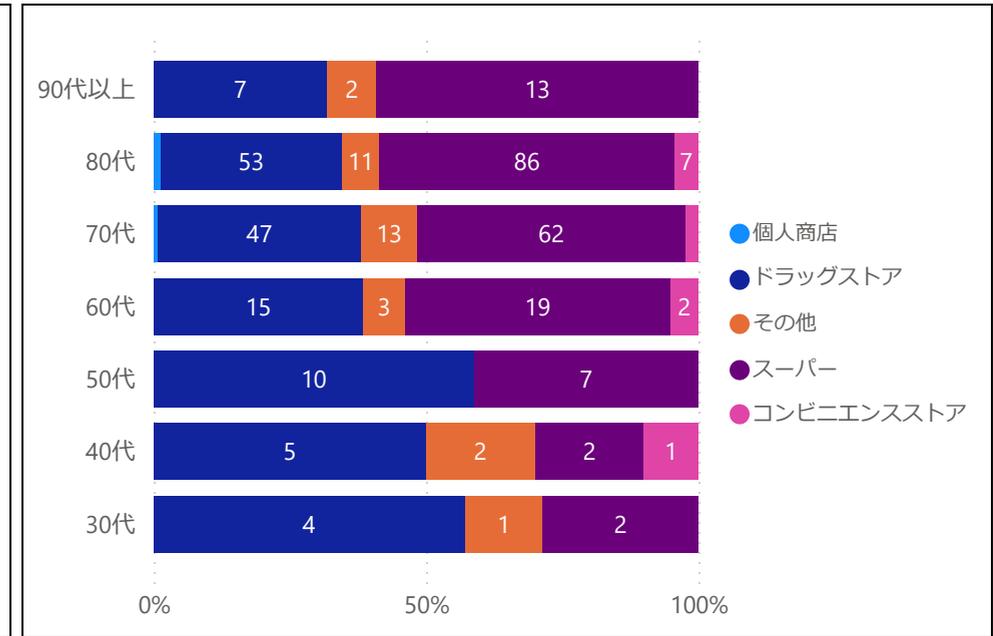
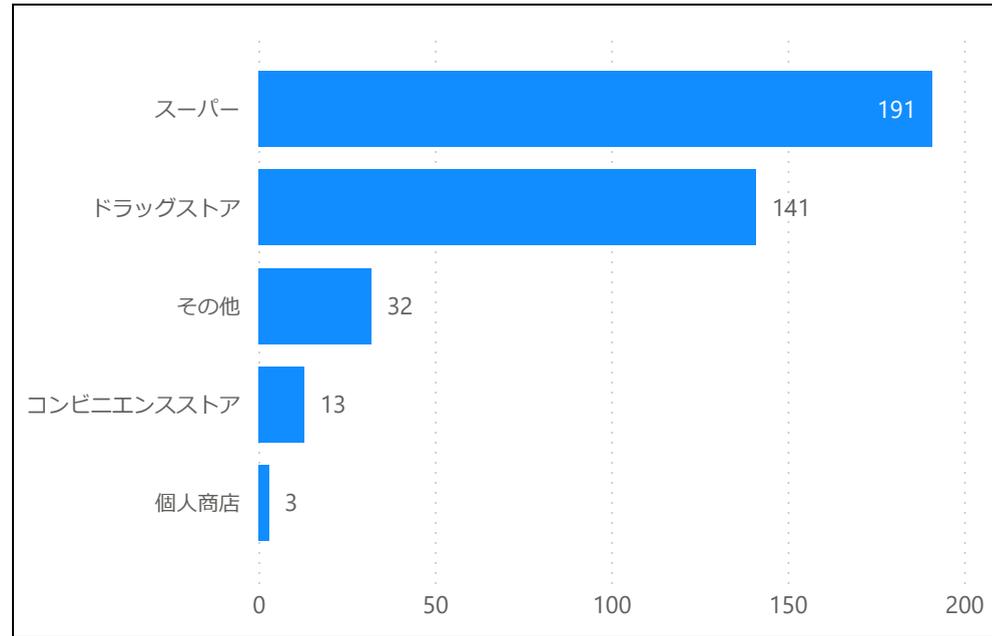
・食料品購入はスーパーが大多数を占める。これは、スーパー以外では、生鮮食料品の入手が難しい当エリアの現状を反映したものと考えられる。同時に、スーパーにはない特色を求めて、あるいは、距離や移動手段等の問題で、様々な業態・店舗を活用しながら食料品の購入をしている住民の買い物事情が窺える。

・年齢、居住地域、住居形式、世帯構成による大きな違いは見られない。



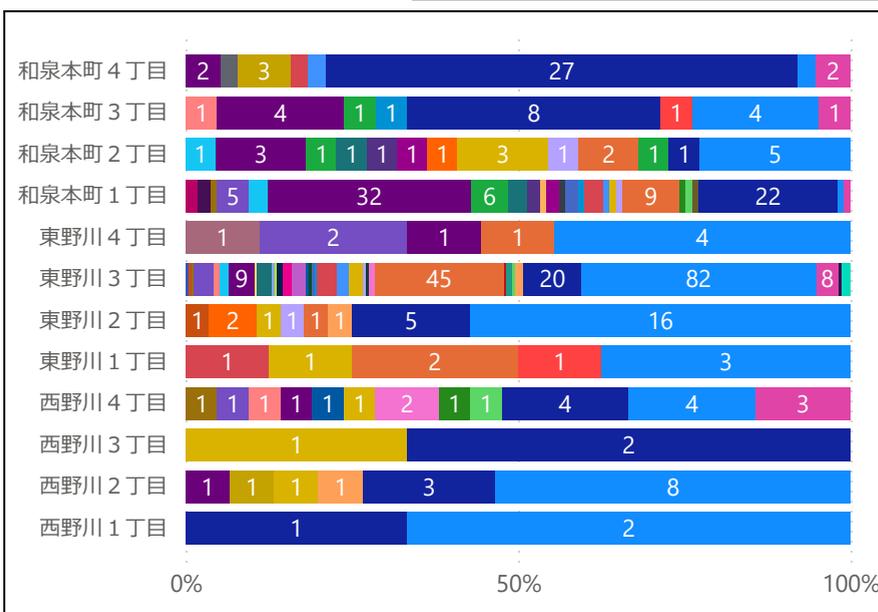
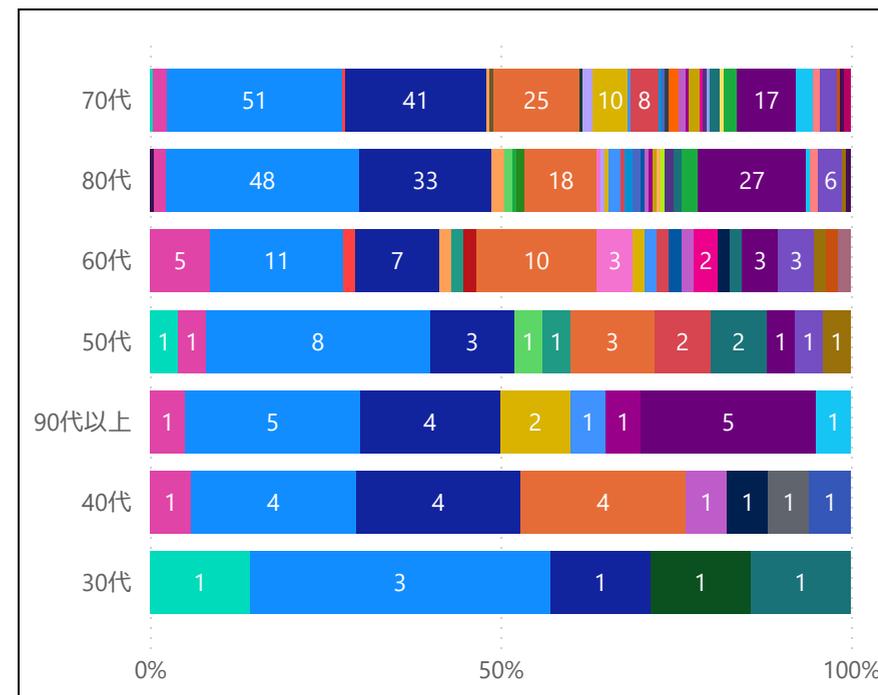
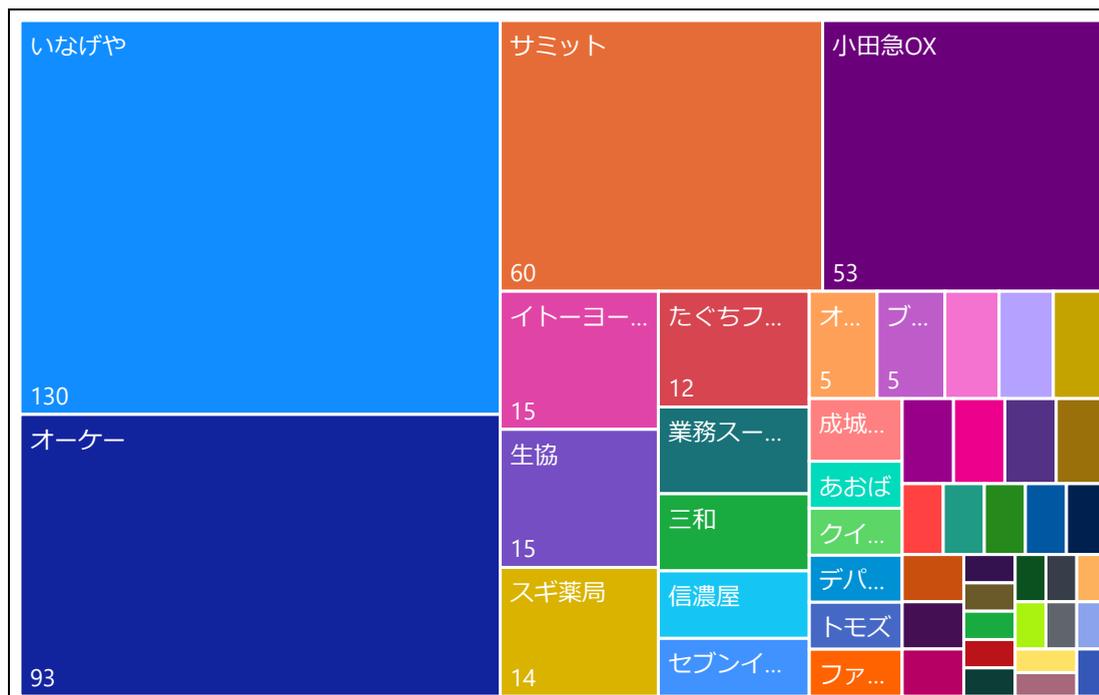
回答数  
393

- ・スーパーが最も利用頻度が高く、ドラッグストアが続く。
- ・年齢とともにスーパーの利用頻度が増大し、ドラッグストアの利用頻度が低下する。これは、高齢化で移動の困難さが増大することにより、移動距離や買い物頻度を減らそうとする（スーパーでの食料品購入に合わせて日用品を買おうとする）ことも一因ではないかと考えられる。
- ・居住地によるスーパーの比率の違いは、近隣における各種商業施設の分布状況を反映している可能性が考えられる。

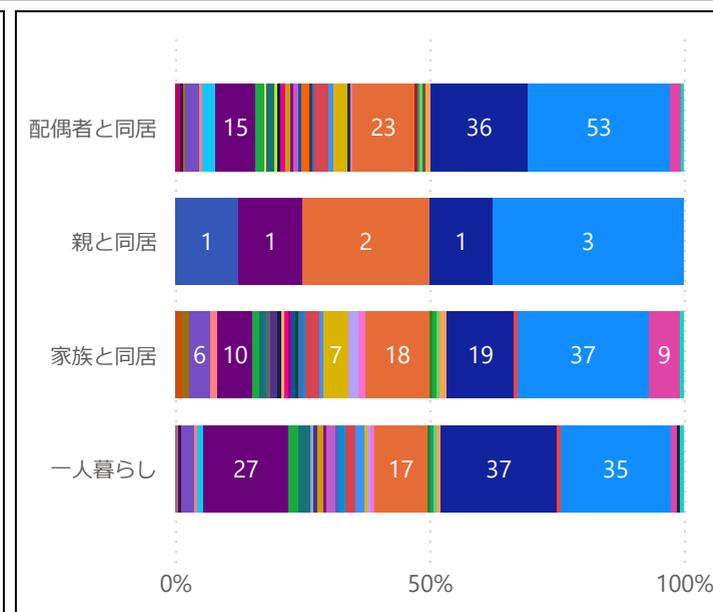
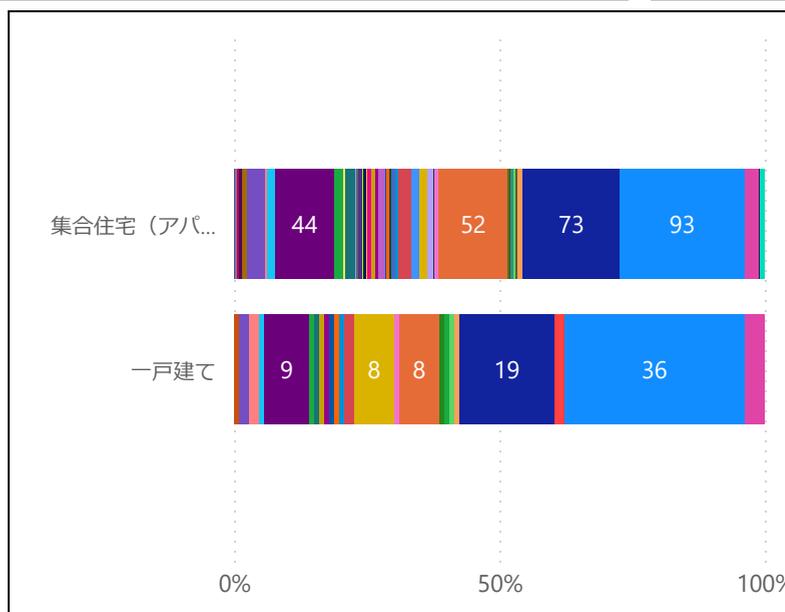


回答数  
380

- 1～5位はスーパーで占められている。これは、生鮮食料品の購入において、スーパー以外の選択肢が極めて限られていることを反映したものと考えられる。
- 6位の生協は、主に宅配を指しているものと考えられる。
- 居住地域による違いは、近隣の店舗が選好される結果と考えられる。



回答数  
505





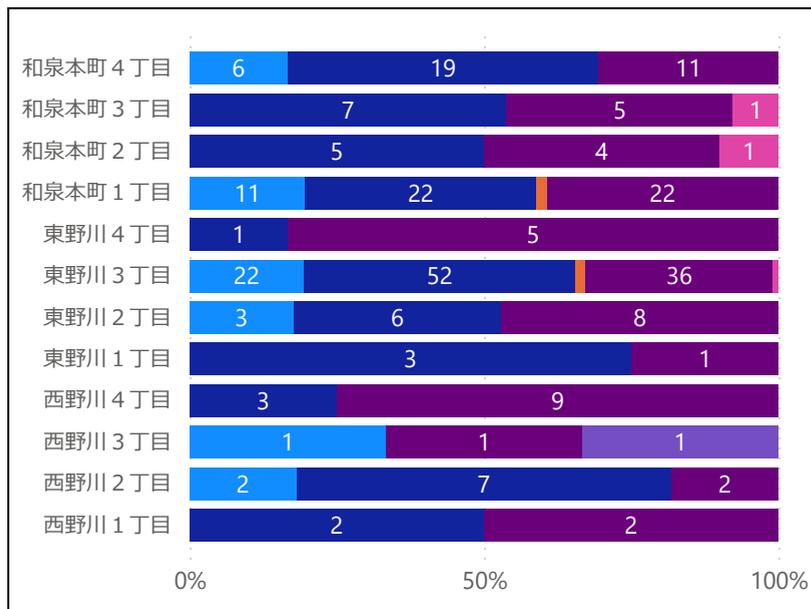
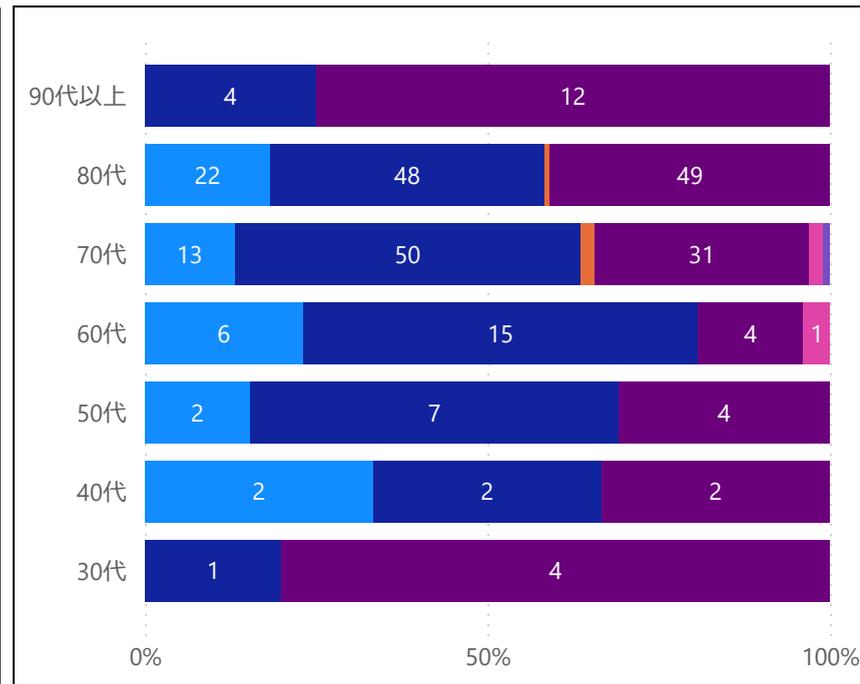
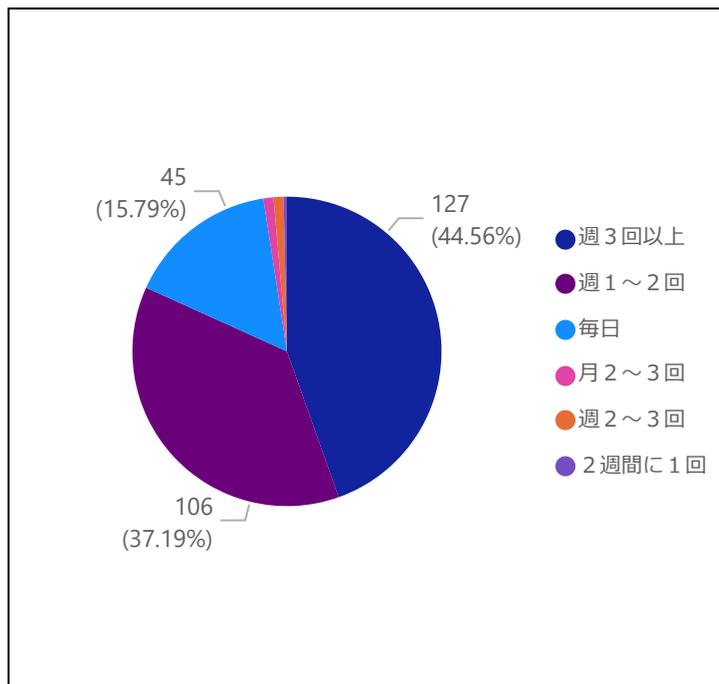
【問7】 日常的に必要な商品は、どのくらいの頻度で買いに出かけますか。

・週3回以上が45%を占め、次いで週1~2回、毎日が続く。

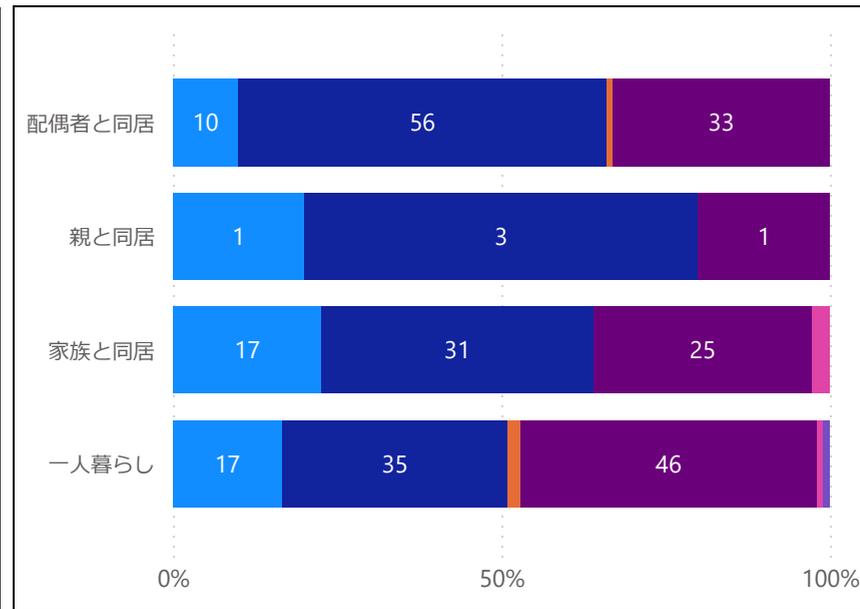
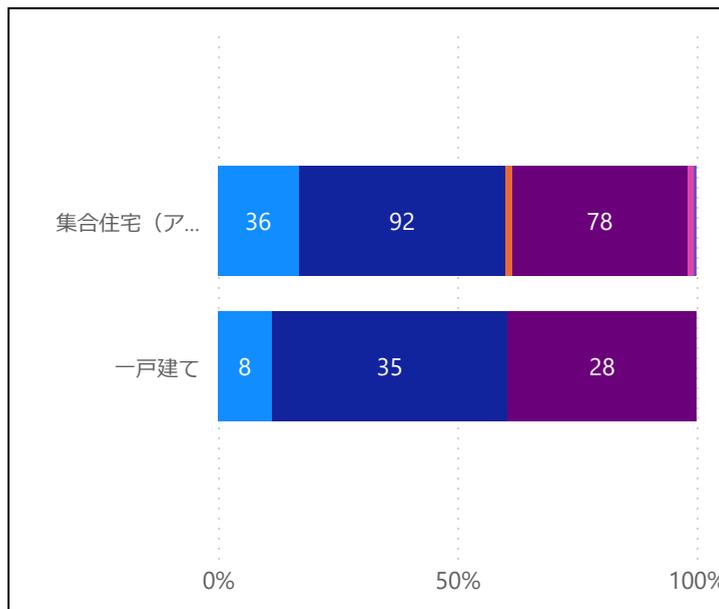
・60代は、全世代中で買い物の頻度が最も高い（毎日と週三回以上を合わせた比率が高い）。高齢となると移動の困難さによって、若齢となると仕事や子育てによる時間的制約によって、買い物の頻度が低下することが考えられる。

・居住地域による買い物頻度の違いは、主要な店舗群（スーパー等）への移動距離の違いを反映しているものと考えられる。

・買い物の頻度は一人暮らしの世帯で最も低い。これには、世帯人数の少なさによる買い物物量の少なさや、年齢が影響している可能性がある。

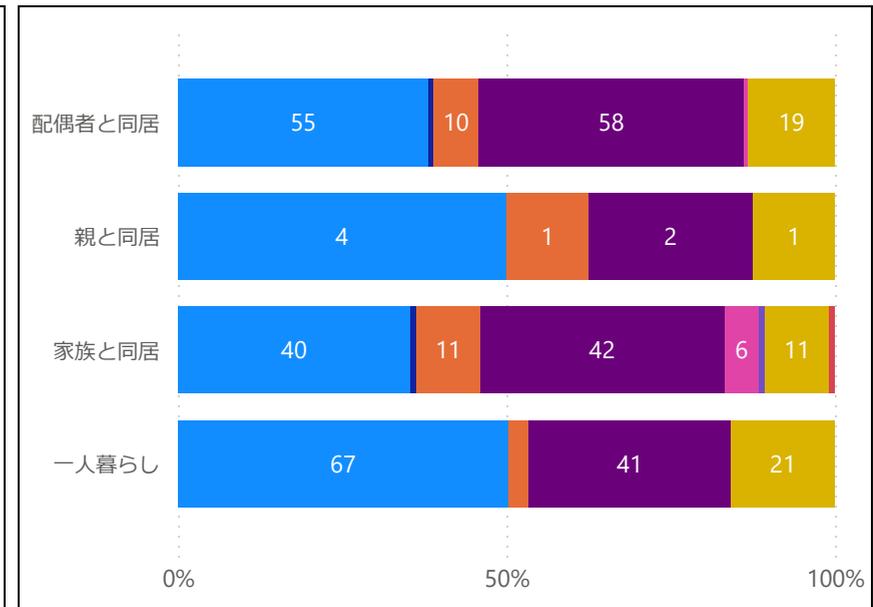
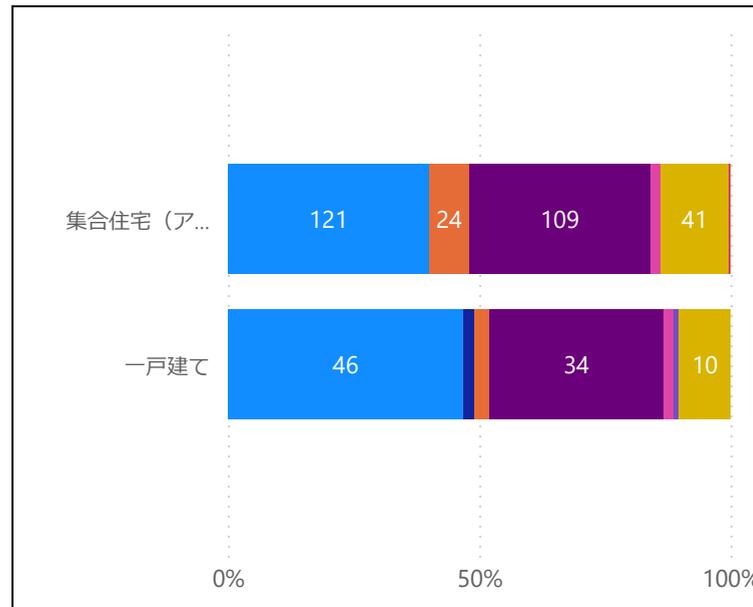
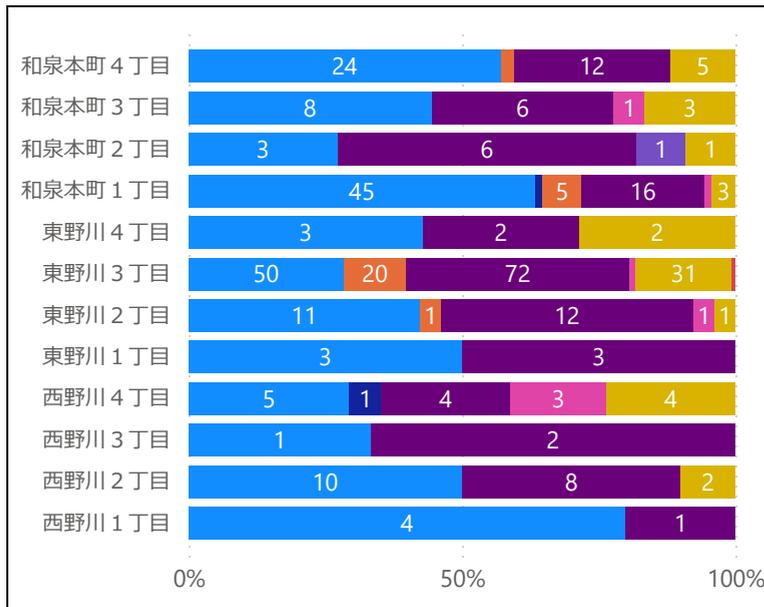
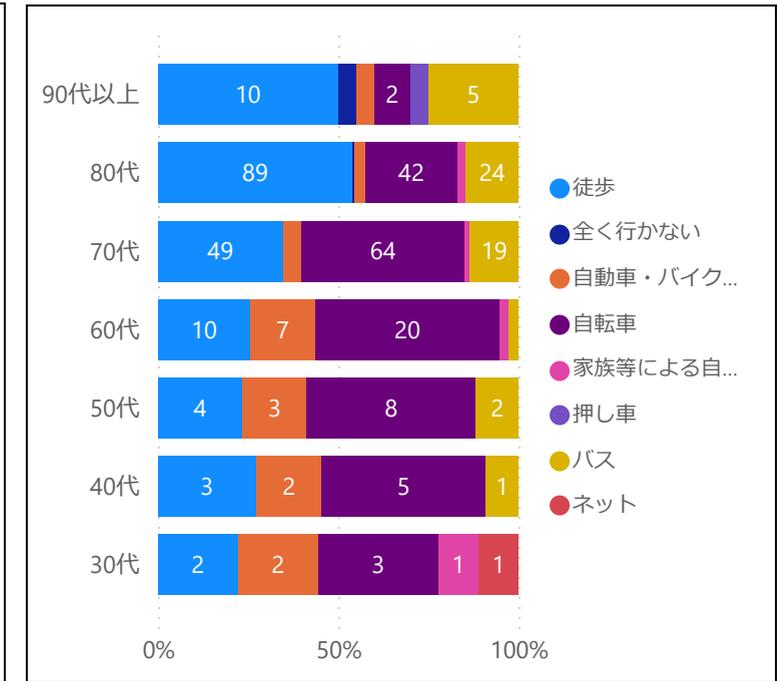
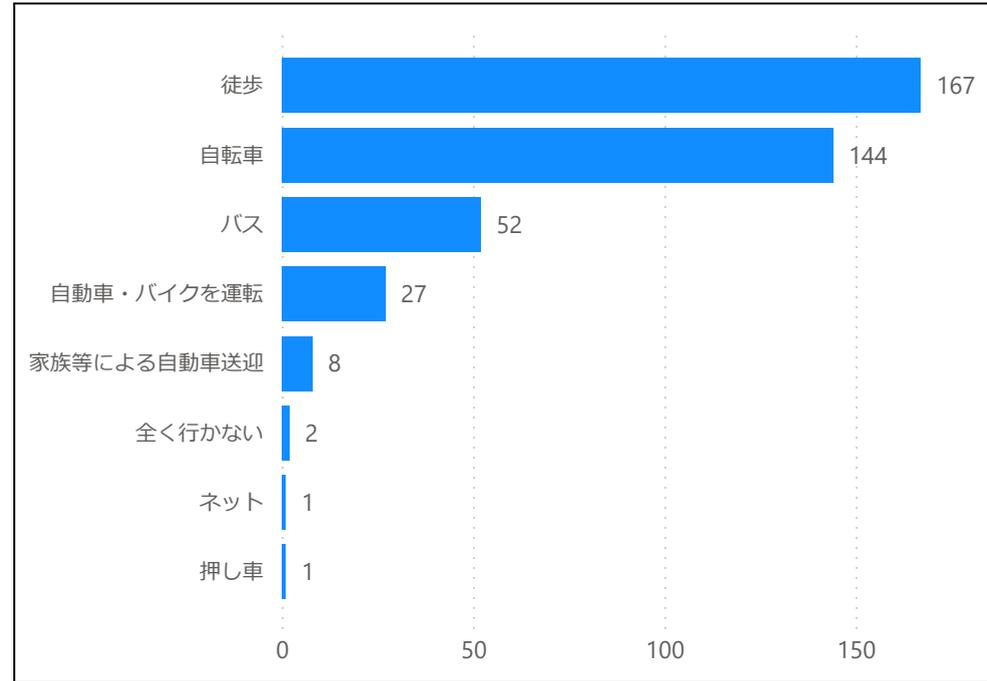


回答数  
285



【問8】あなたが買い物に行くとき、お店へはどのようにして行きますか。（複数選択可）

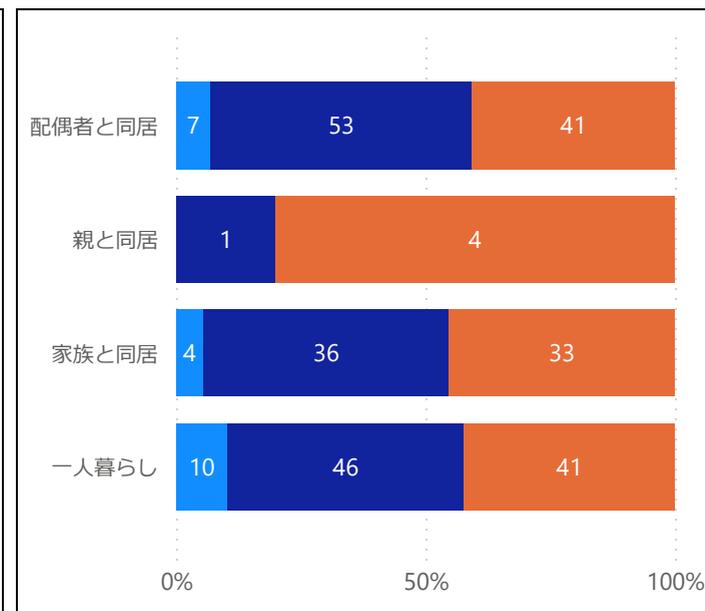
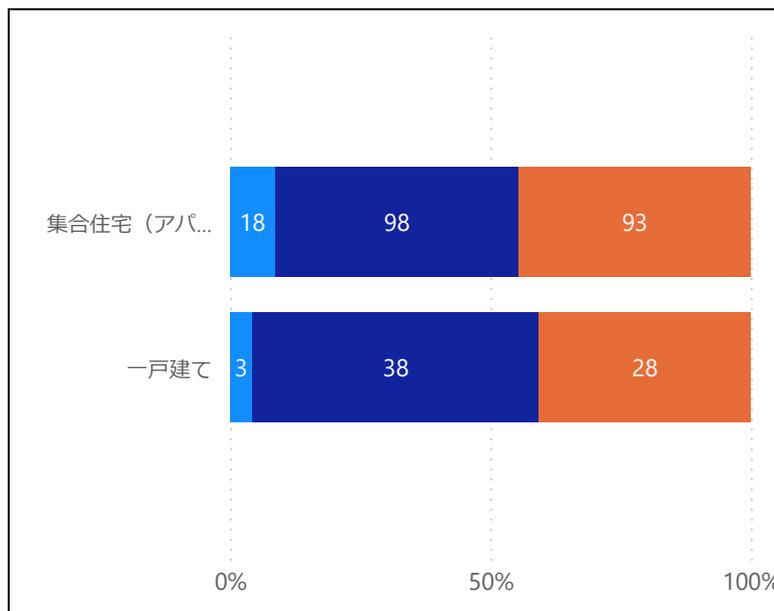
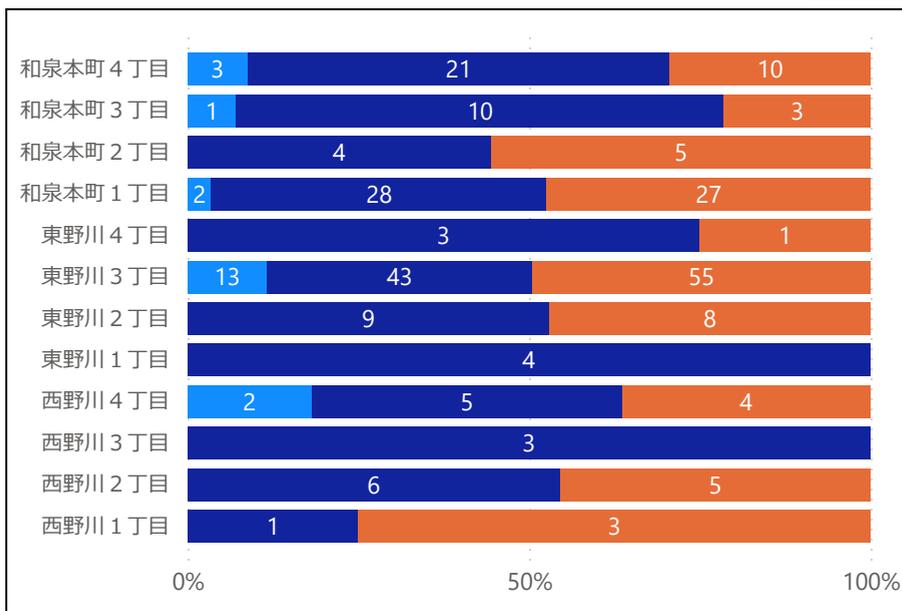
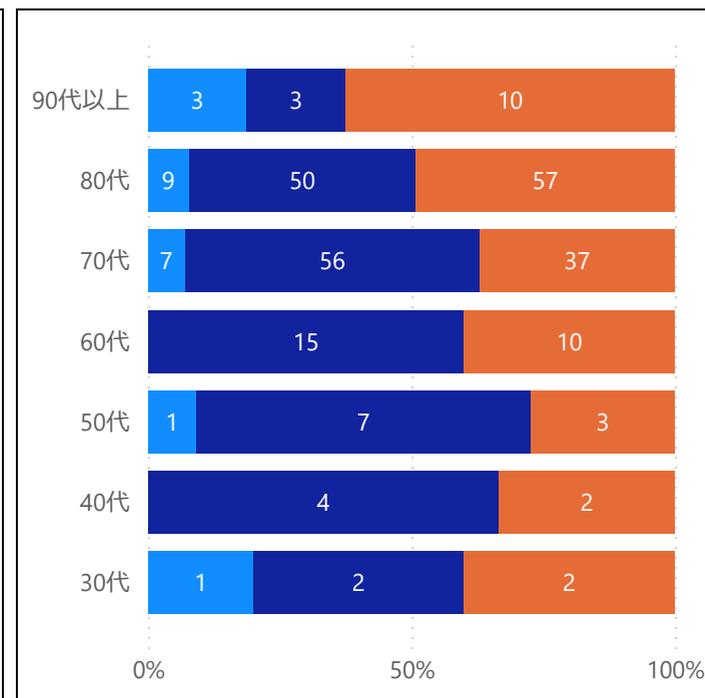
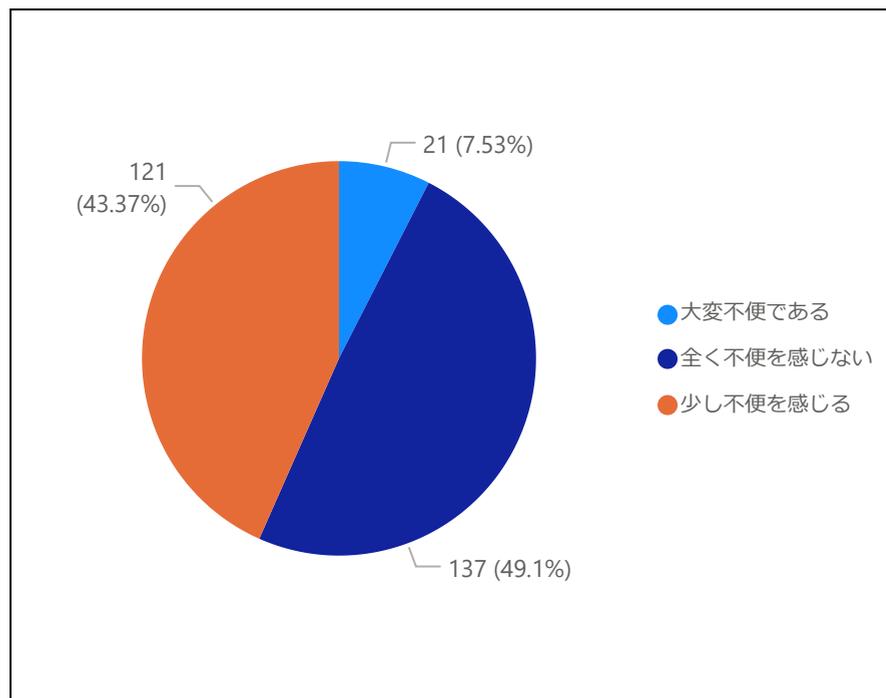
- ・徒歩が最も多数を占め、自転車、バスがこれに続く。
- ・60代より上の世代では、年齢が上がるほど自転車の利用率が低下する。これは体力や安全性に起因して自転車利用を避けるようになったためと考えられる。
- ・60代より上の世代では、年齢が上がるほどバスの利用率が増加する。
- ・80代以上に「全く行かない」が見られる。90代では「押し車」も現れる。これらは加齢による移動の困難さを反映したものと考えられる。
- ・居住地による違い（例えば、徒歩やバスの比率の違い）が見られる。これには主要な商業施設への距離の違いが影響しているものと考えられる。



回答数  
402

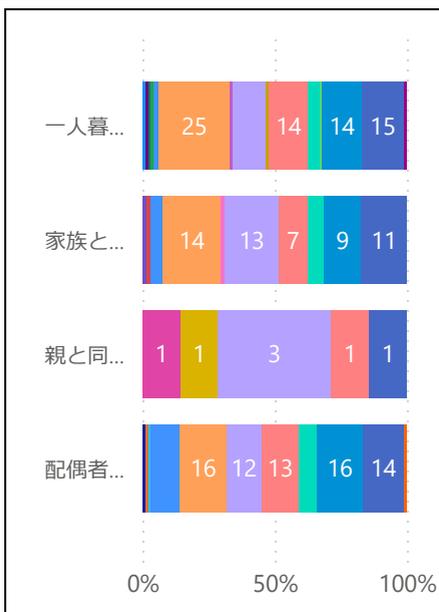
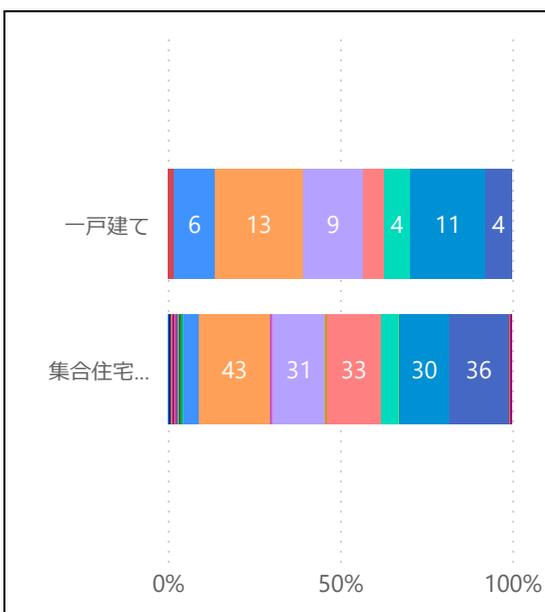
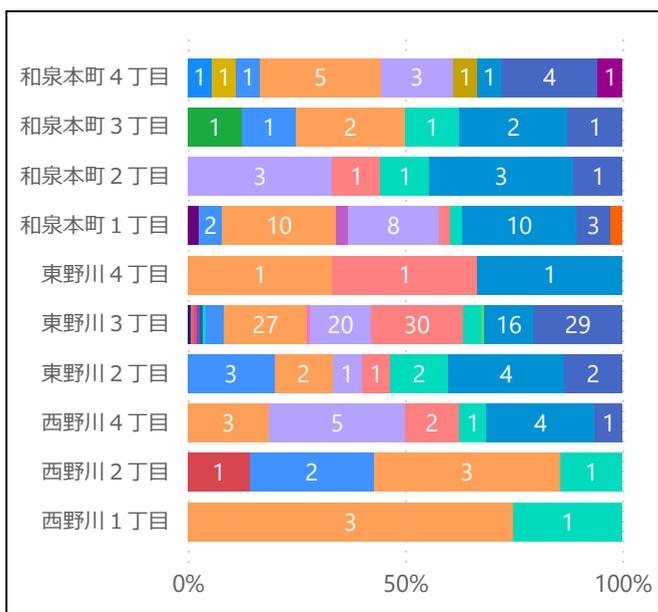
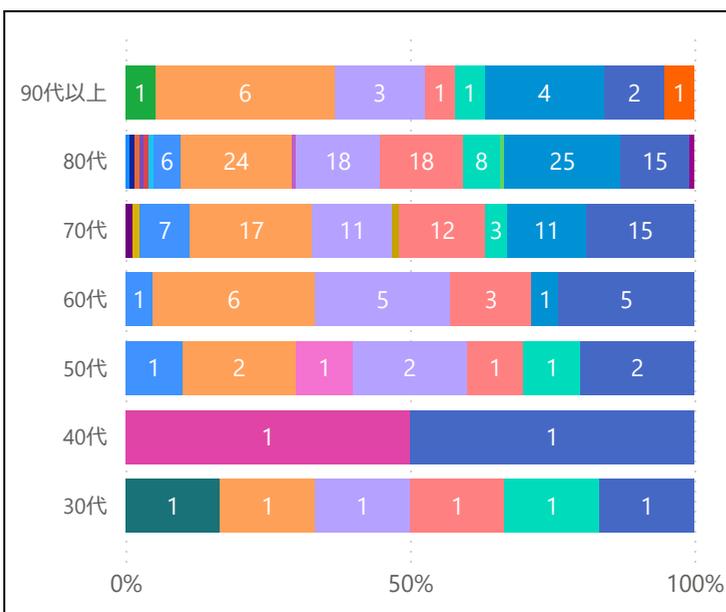
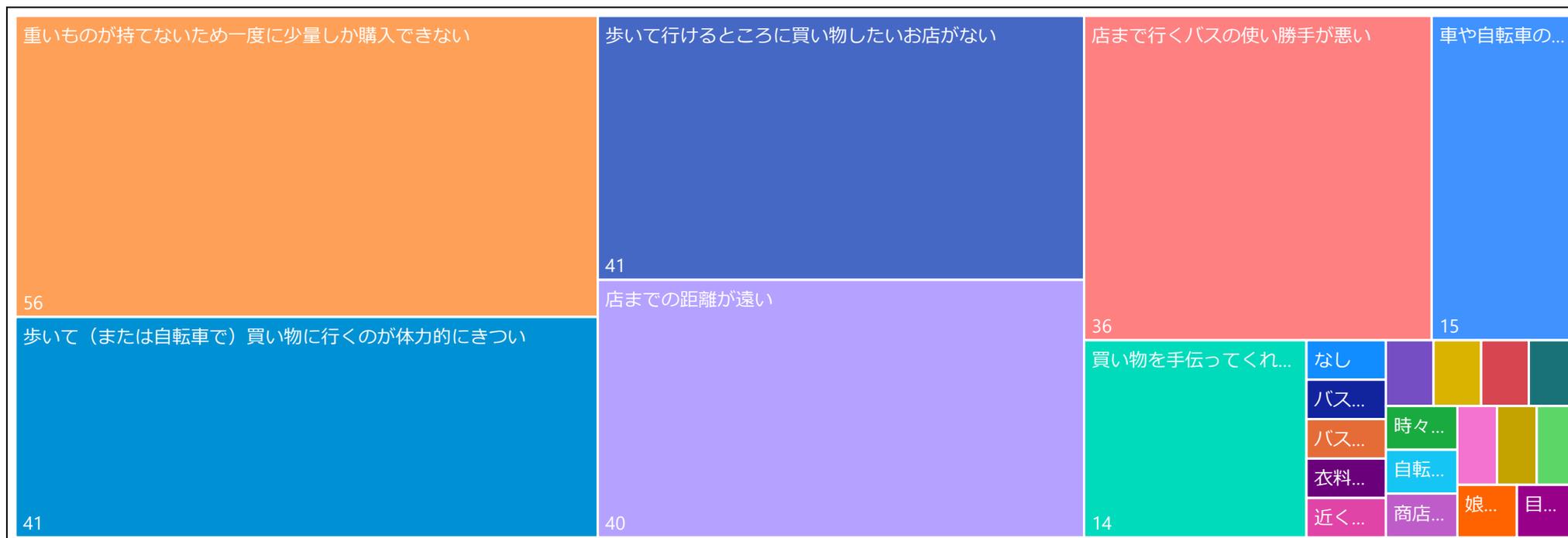
【問9】 買い物の際に不便に感じることがありますか。

- 少し不便を感じる、大変不便である、を合わせると51%に及ぶが、これは買い物に課題を感じる人が回答に協力しやすいということが影響している可能性が高い。
- **60代以上では、年齢が上がるほど、不便を感じる割合が増加する。**これは移動の困難さが加齢により増大することを反映したものと考えられる。
- **30代の回答数は5件と少ないが、その6割が買い物に不便を感じていると回答している。**個別の意見としては、「(通勤で利用する)最寄駅からの道中にスーパーがなく、スーパーに寄る場合は遠回りする必要がある」(単身世帯)、「買い物を手伝ってくれる人が必要」(子育て世帯)、「近くにコンビニがない」「幼児と出かける際にバスの本数が少ない」(子育て世帯)などの回答があった。若年層の買い物ニーズの調査については今後の課題である。
- 居住地域による違いは、主要な商業施設への距離を反映したものと考えられる。



回答数  
279

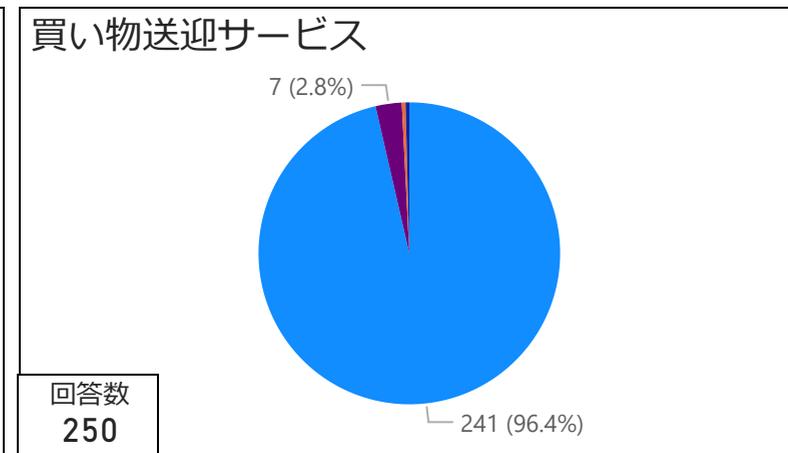
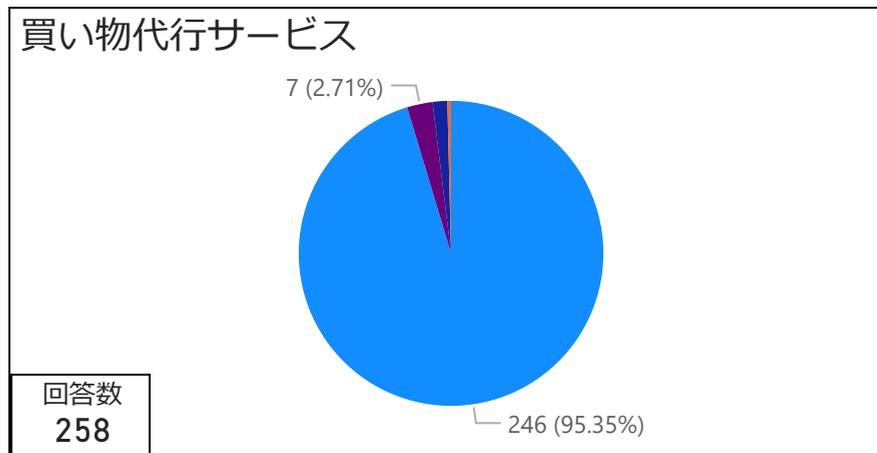
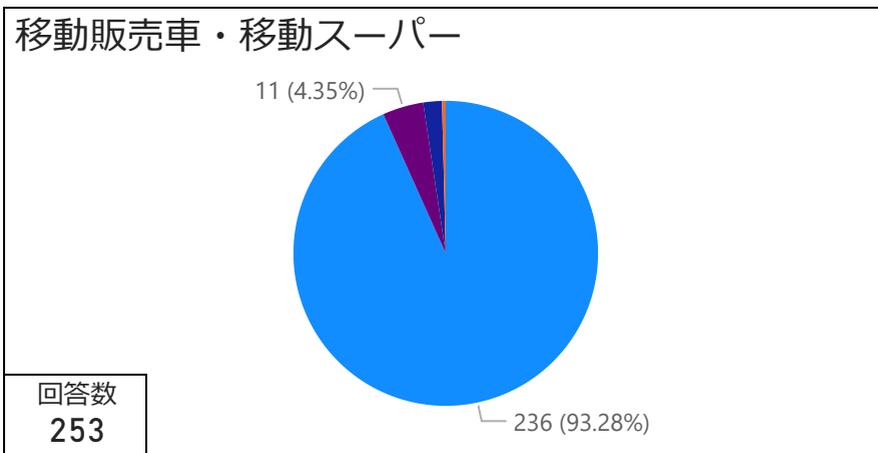
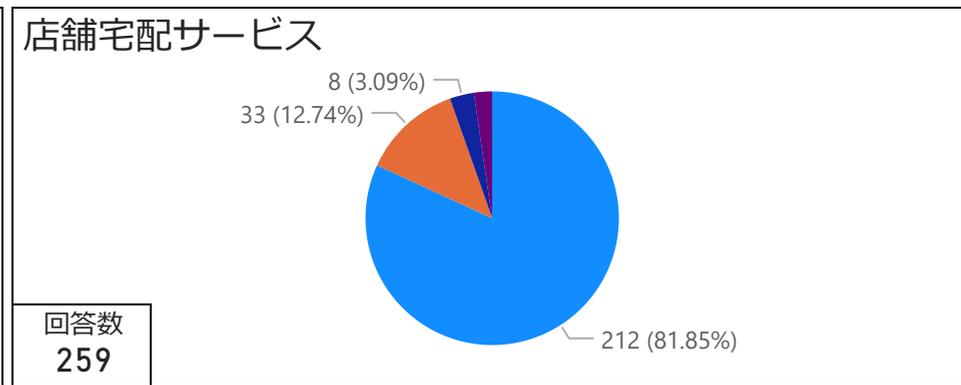
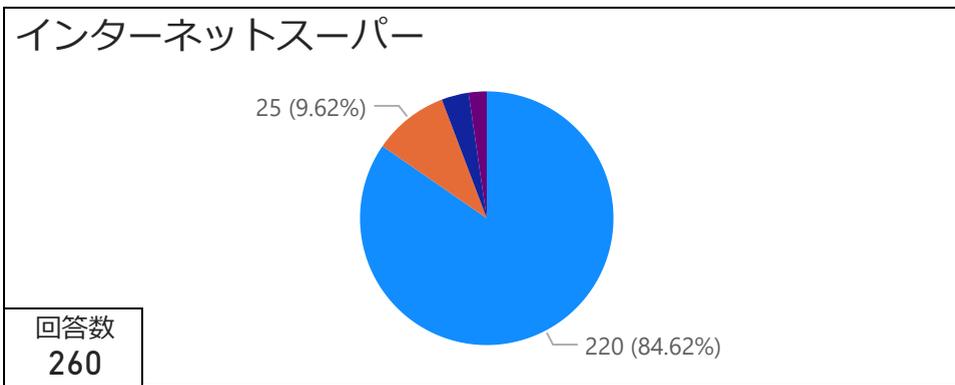
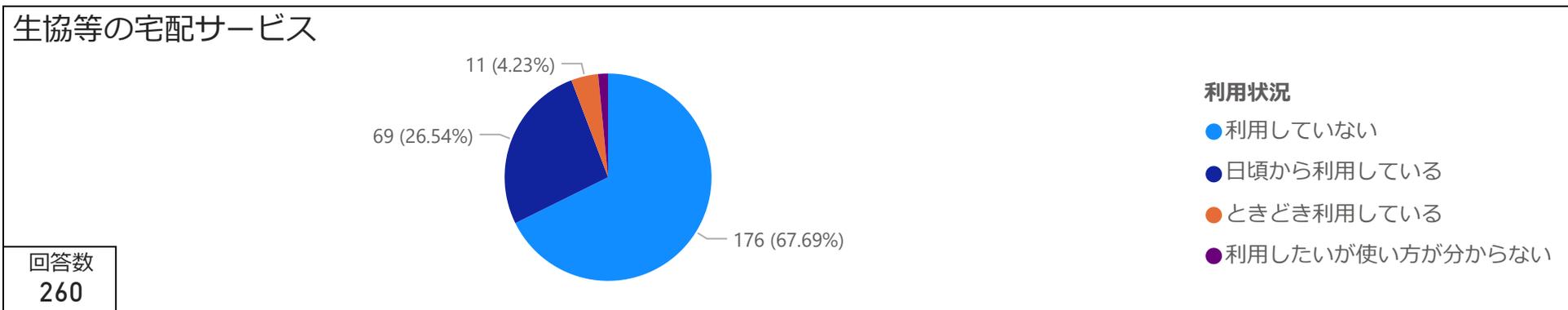
- 最も多い回答は、「重いものが持てないために一度に少量しか購入できない」である。これは、重いものを持って長距離を移動する困難さを反映したものと考えられ、移動に関する問題とみなすことができる。
- 上記を考慮すると1~6位のすべてが移動に関する問題となっているが、これは8つの選択肢のうち5つが直接的に、1つが間接的に移動に関係することに起因する。



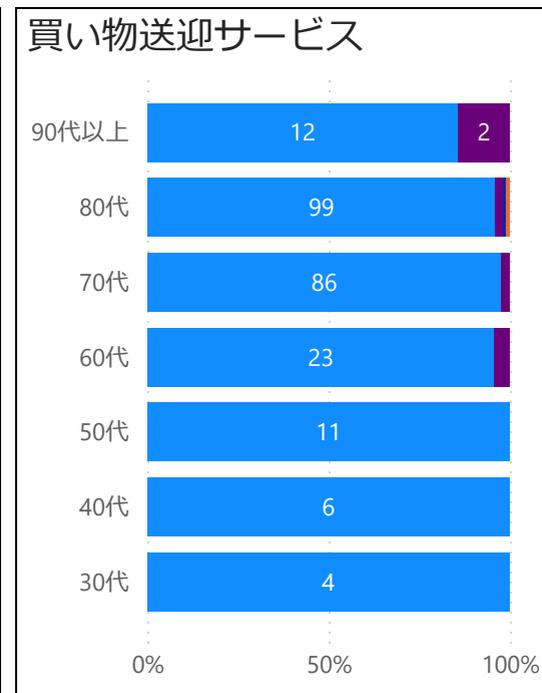
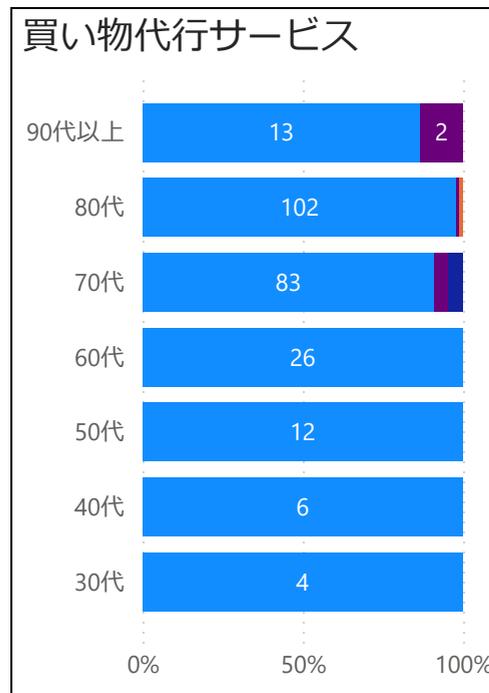
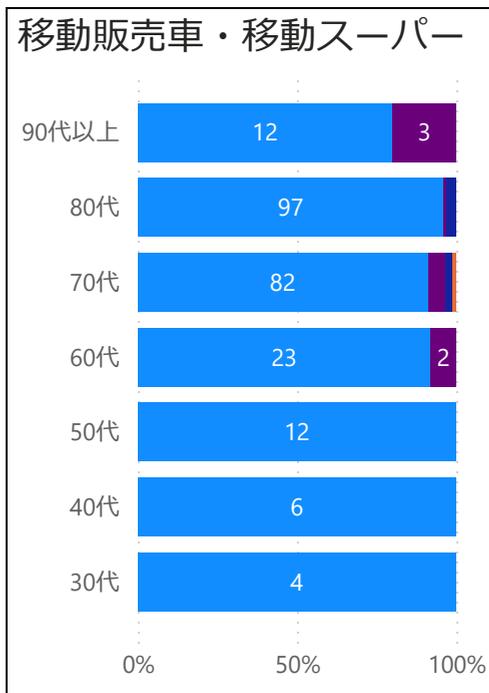
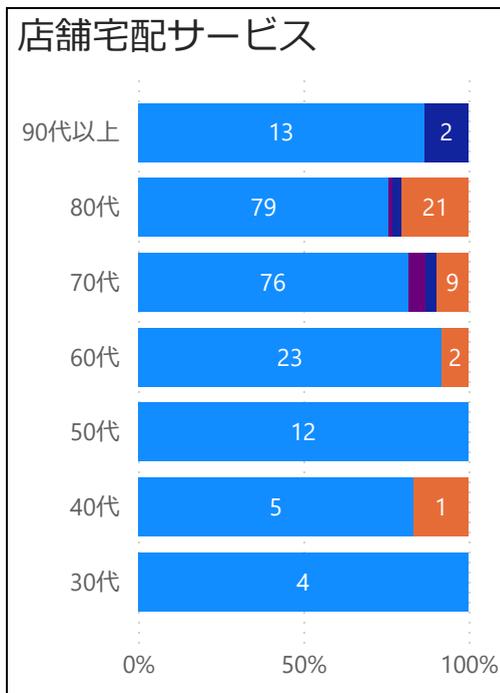
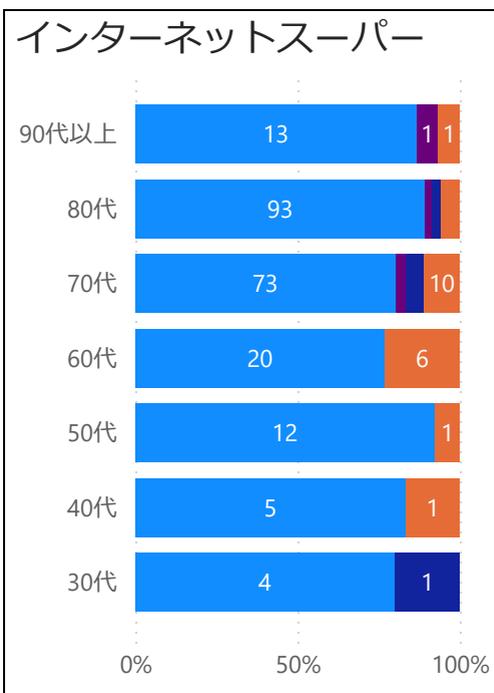
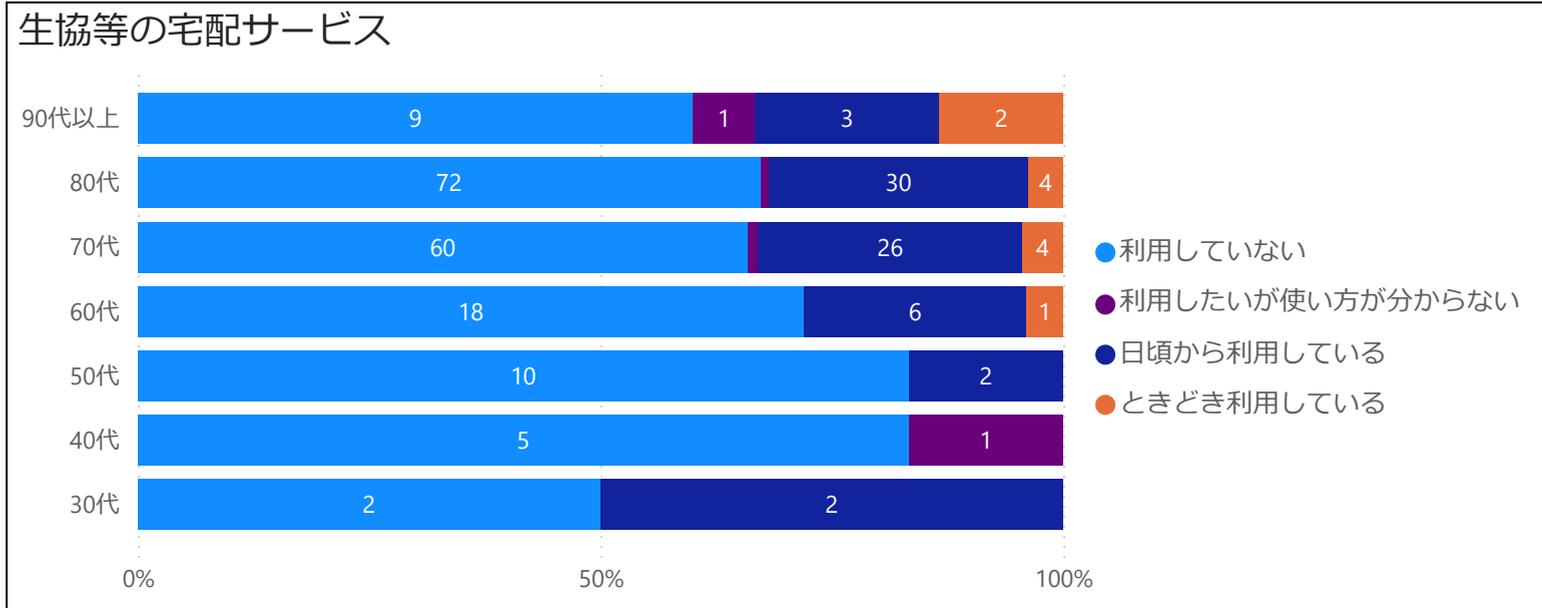
回答数  
260

【問11①】以下の買い物支援サービスについて、該当する番号（利用状況）に○をつけてください。

- 全てのサービスに関して、「利用していない」が最も多い。
- 全てのサービスに関して、「利用したいが使い方が分からない」との回答が2~4%ほどある。また、「利用していない」との回答の中にも潜在的に「サービスについて（詳しく）知らないために利用していない」人がいることも想像される。
- 最も利用率が高いのは、「生協等の宅配サービス」である。これに「店舗で購入した商品を配達するサービス」、「インターネットスーパー」が続く。
- 「移動販売車・移動スーパー」、「買い物送迎サービス」、「買い物代行サービス」の利用率はいずれも数%に留まる。
- サービスの違いによる利用率の違いは、当該サービスに関する情報アクセスの容易さの違い、それによる認知度の違いを反映している可能性がある。

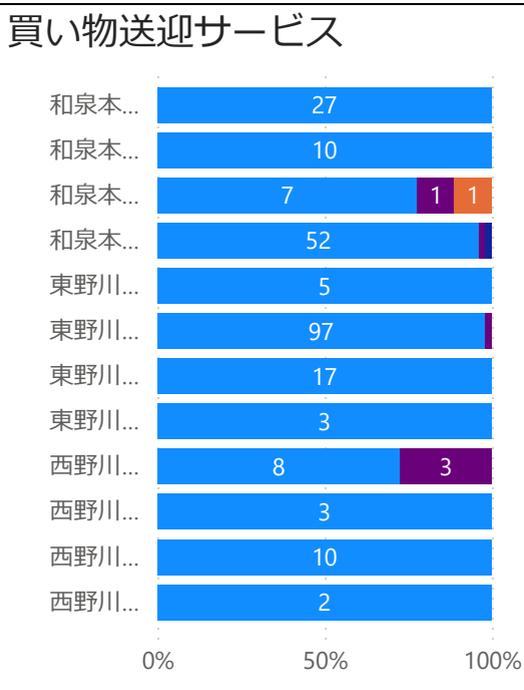
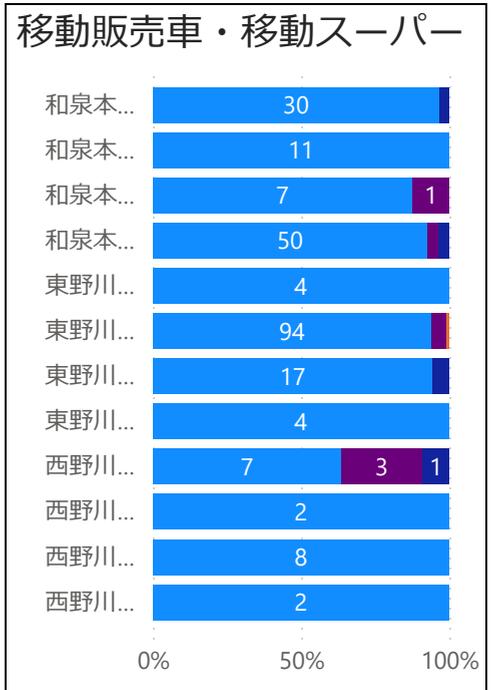
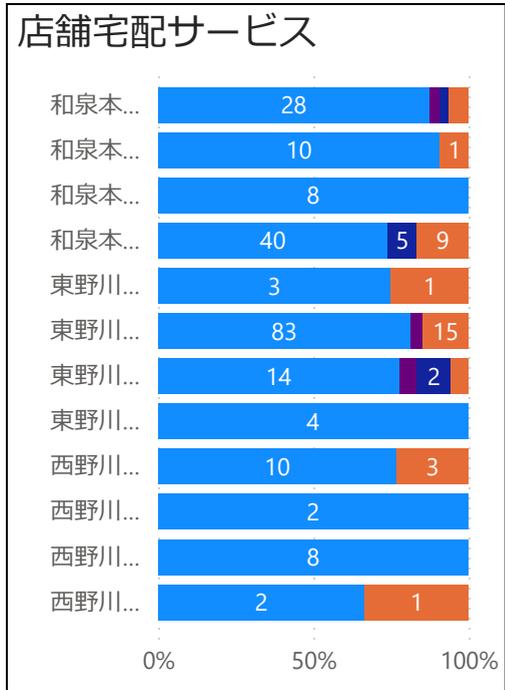
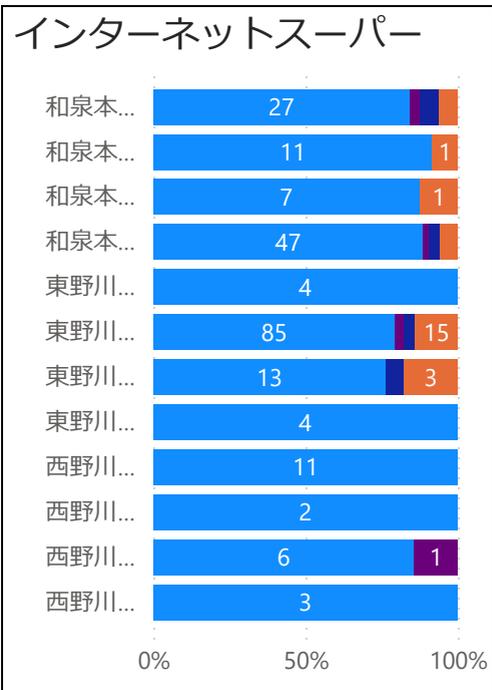
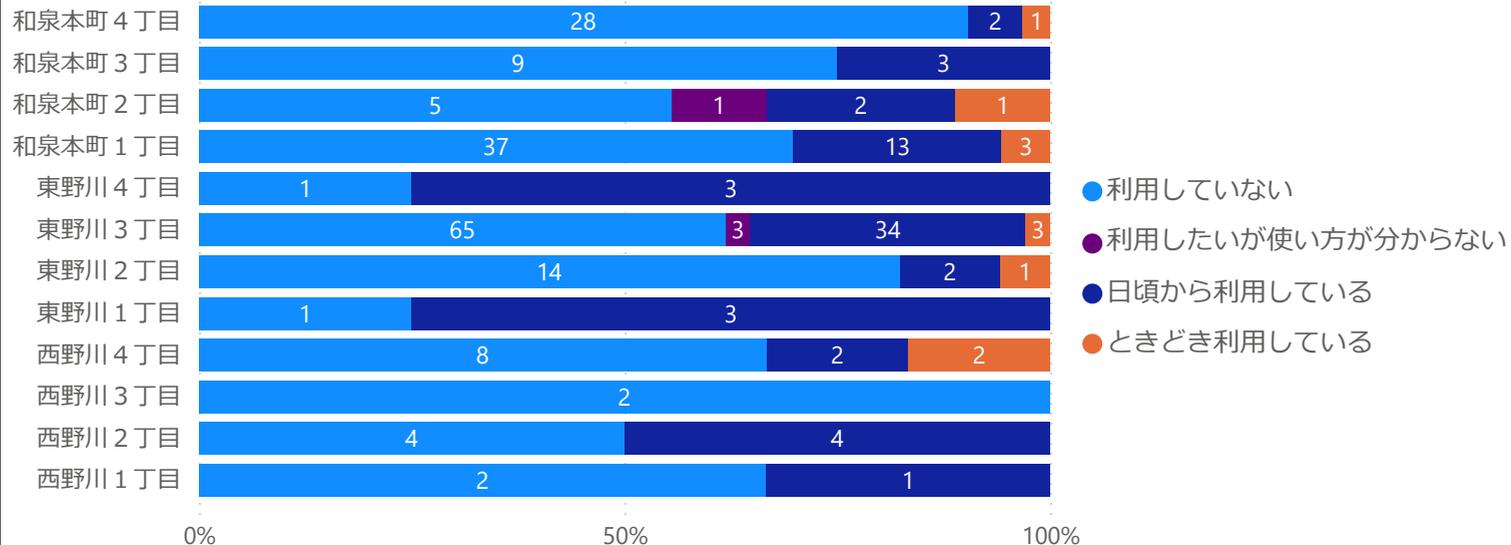


- ・最も利用者の多い生協宅配サービスは、60代以上では年齢に関係なく一定程度利用されており、認知度の高さが伺われる。
- ・「利用したいが使い方がわからない」という回答は、70代以上に多くなっており、最も必要とする高齢者に情報が届きにくい現状を表している。
- ・インターネットスーパーは、60代以上では年齢が高くなるほど利用頻度が低下しており、高齢者のネットリテラシーの低さが影響していることが伺える。
- ・店舗購入商品の宅配サービスは、60代から80代にかけて年齢とともに利用頻度が増加しており、重量物運搬の負担が影響している可能性が考えられる。



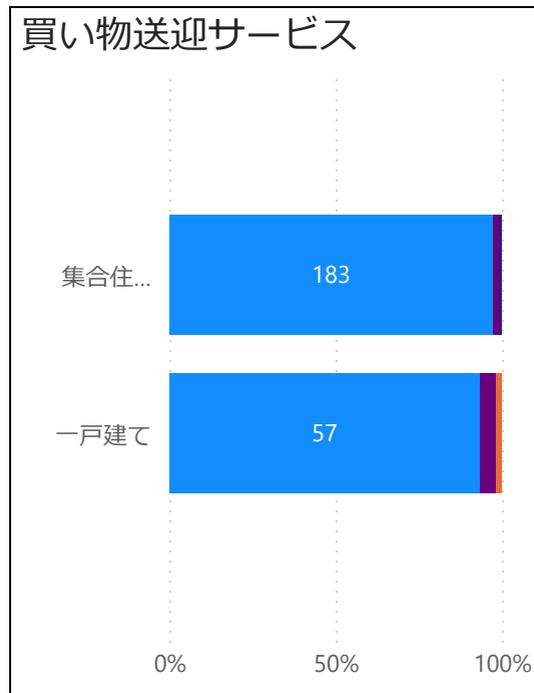
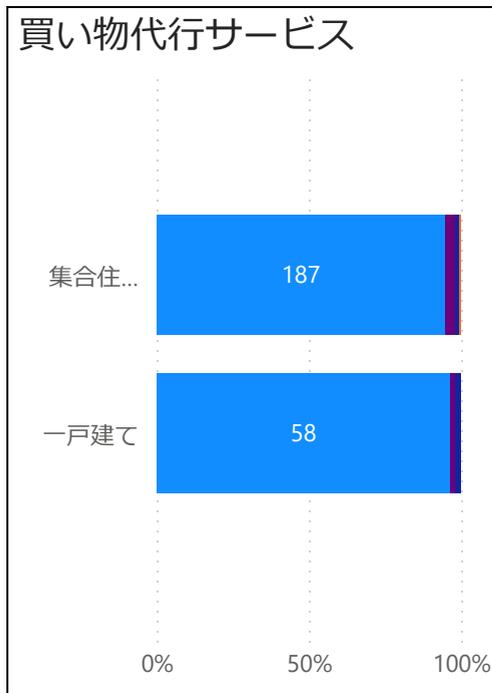
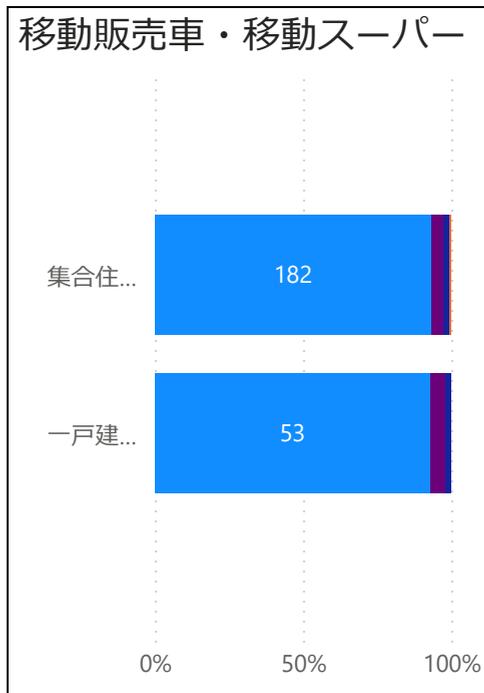
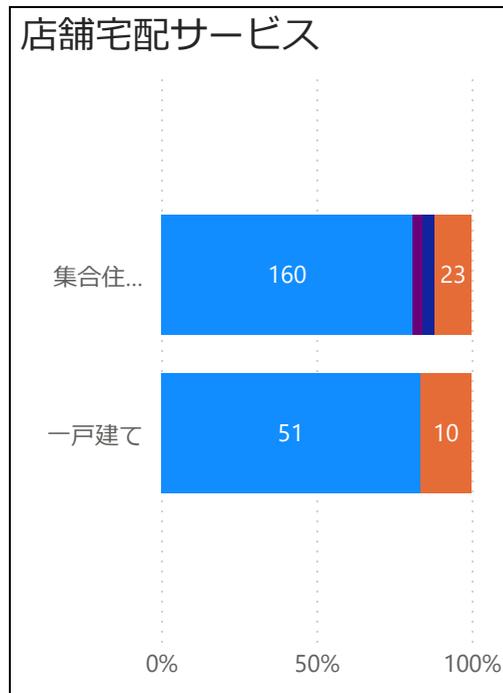
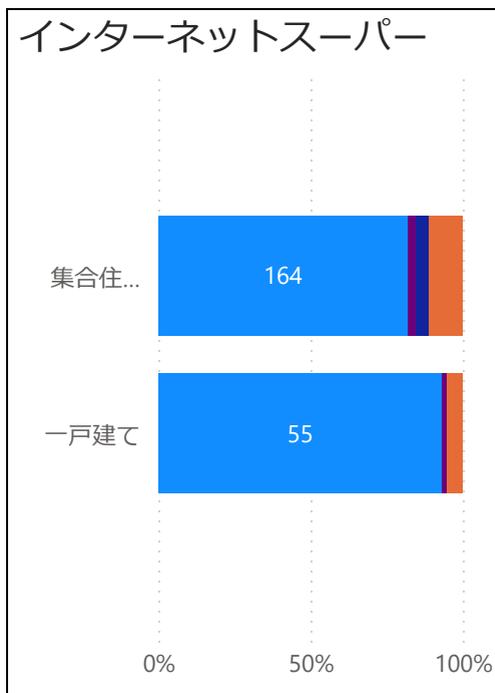
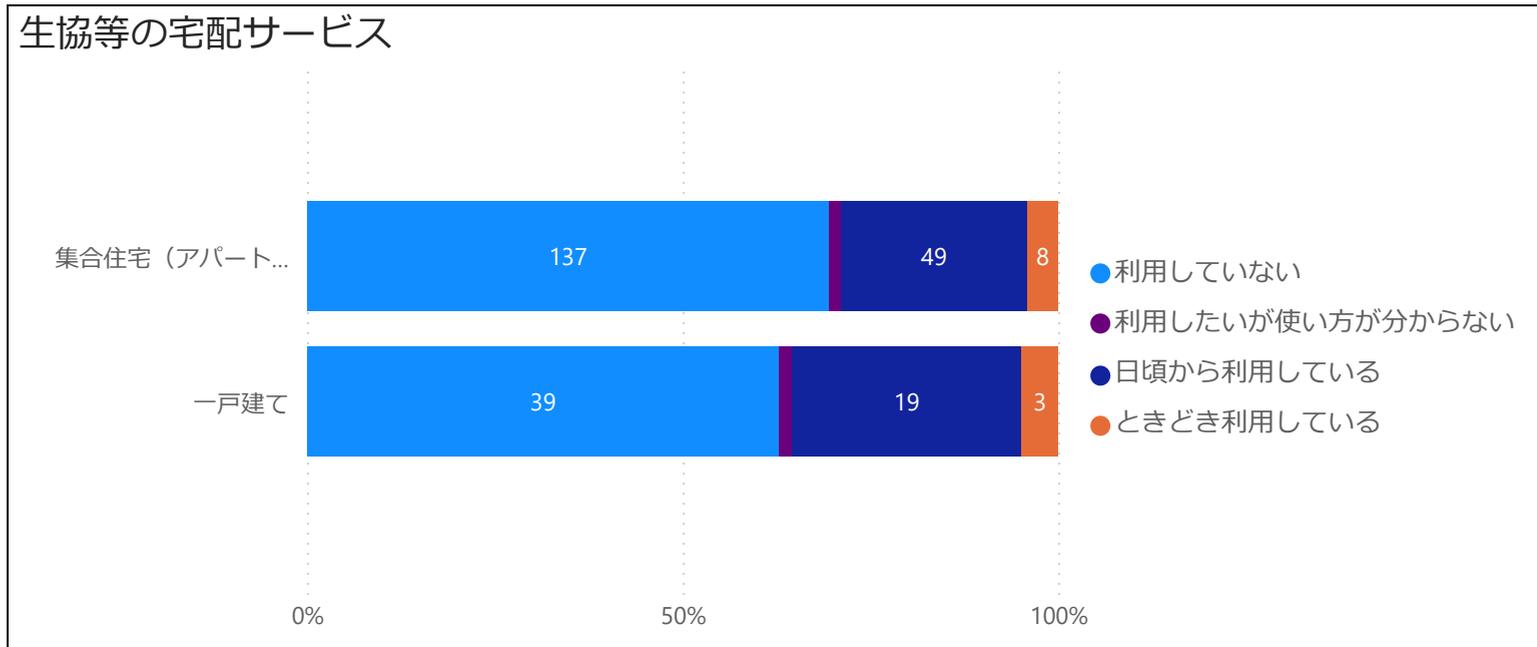
・利用頻度への居住地域の影響は、明瞭には現れてはいない。

### 生協等の宅配サービス

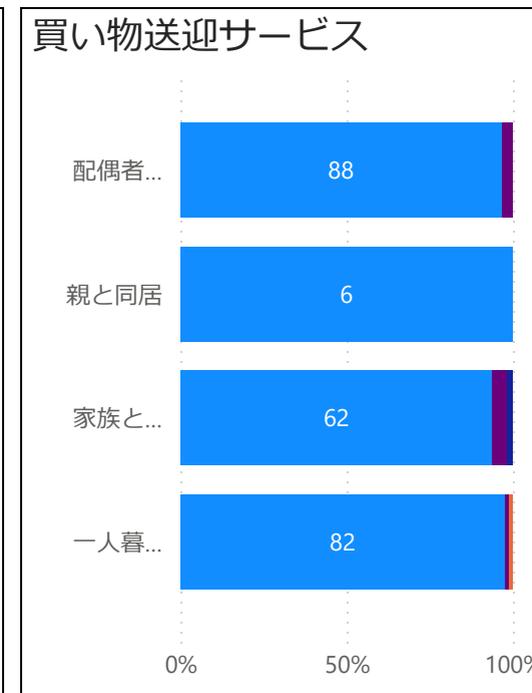
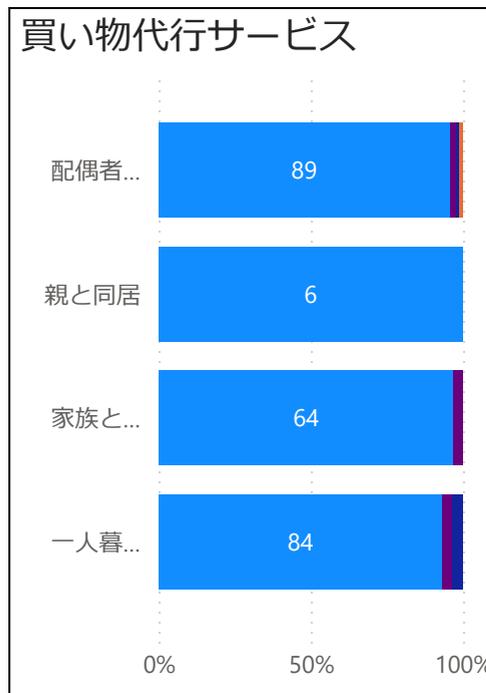
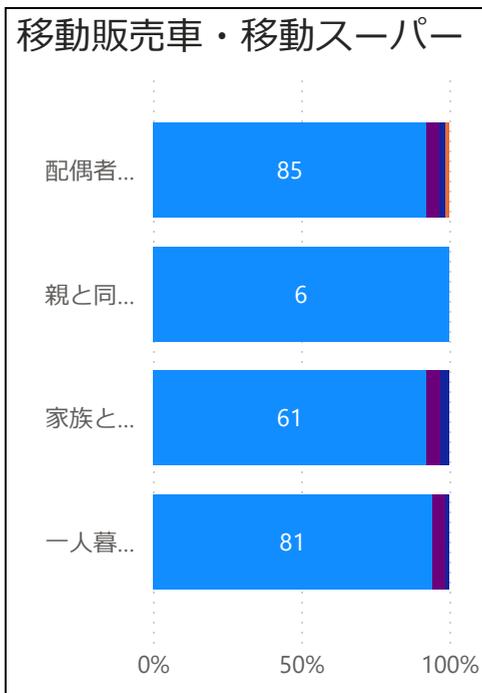
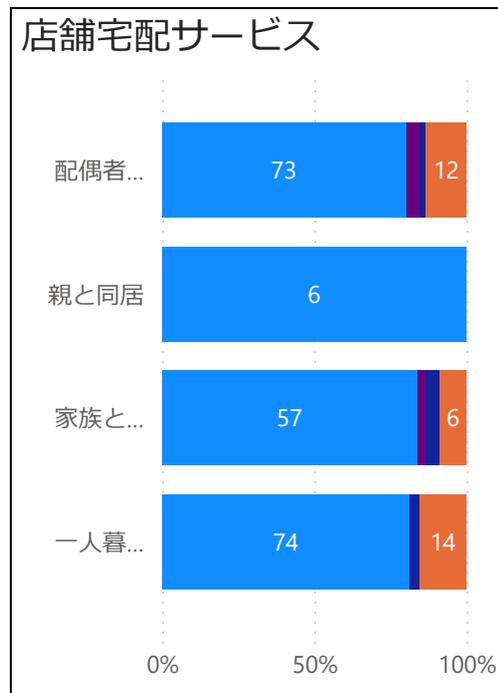
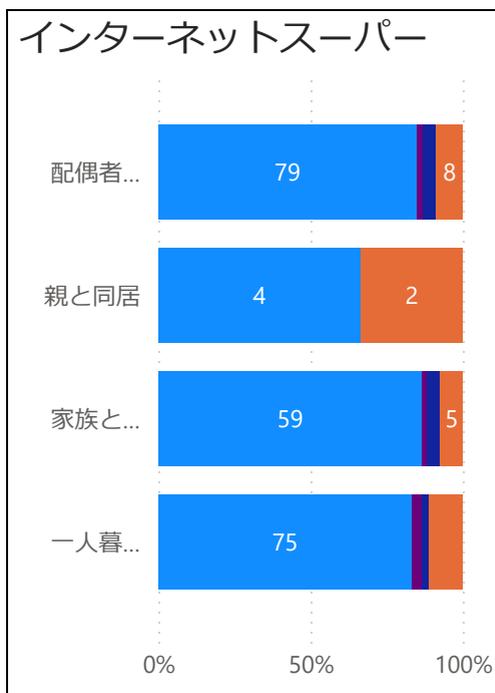
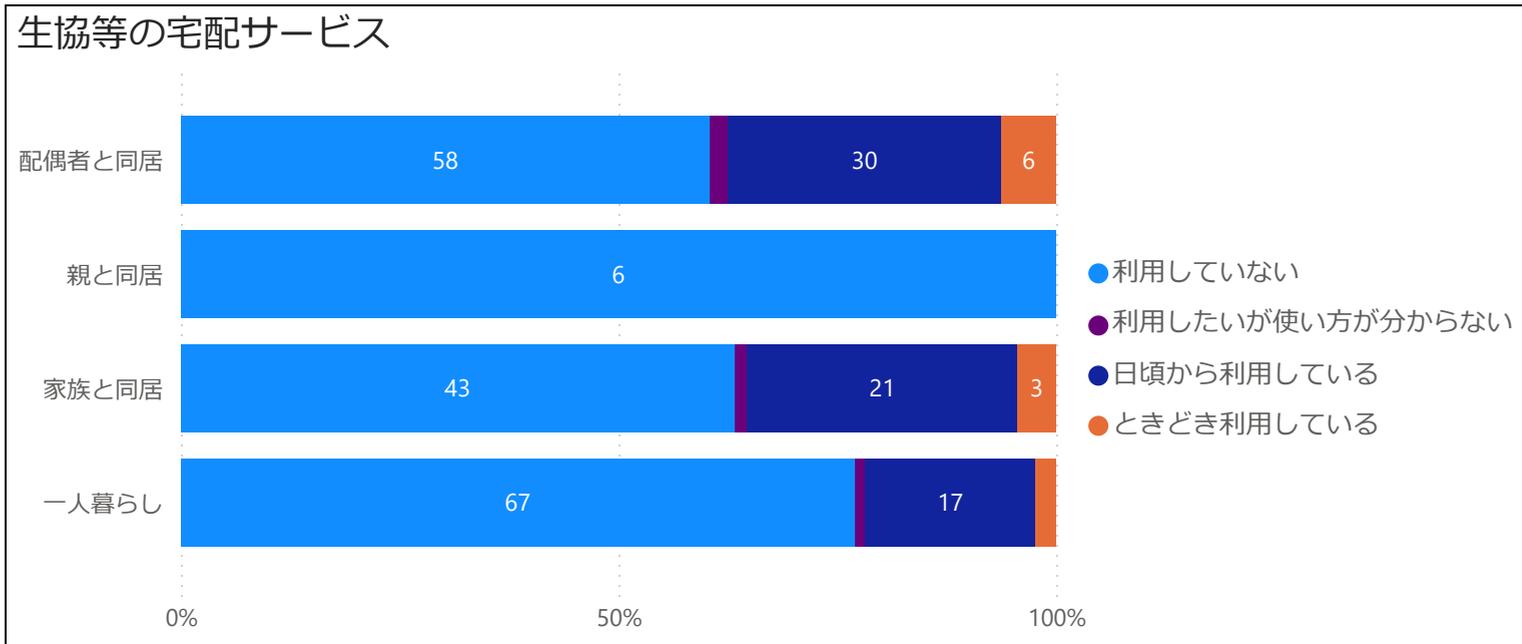


【問11①】以下の買い物支援サービスについて、該当する番号（利用状況）に○をつけてください。（住居形式別）

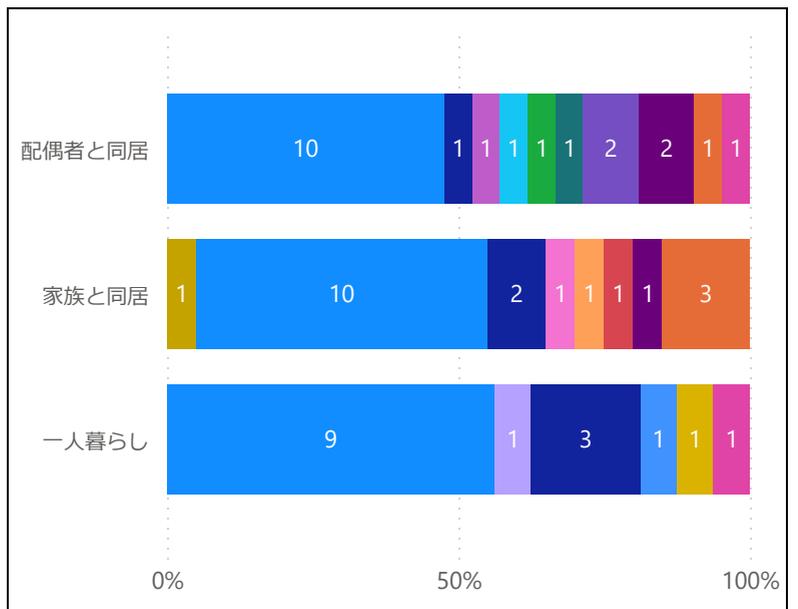
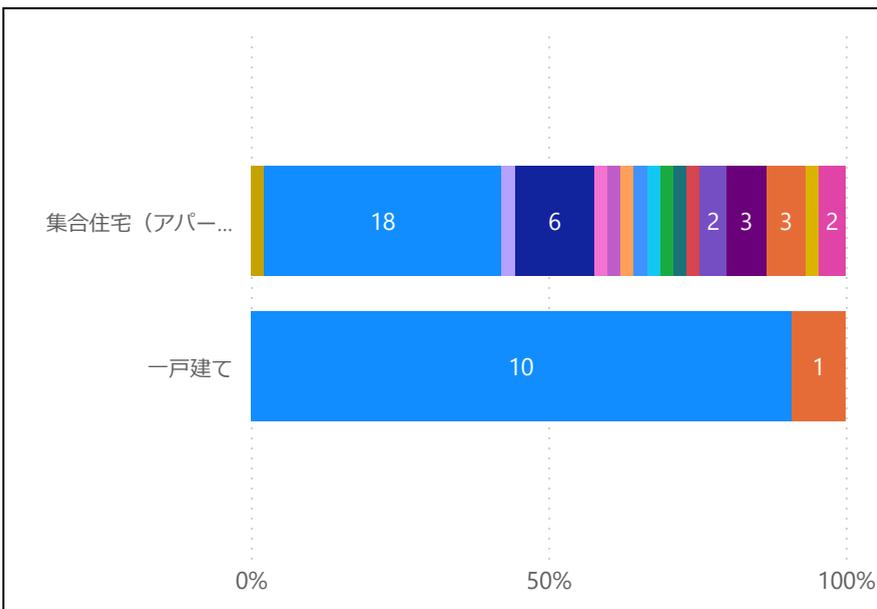
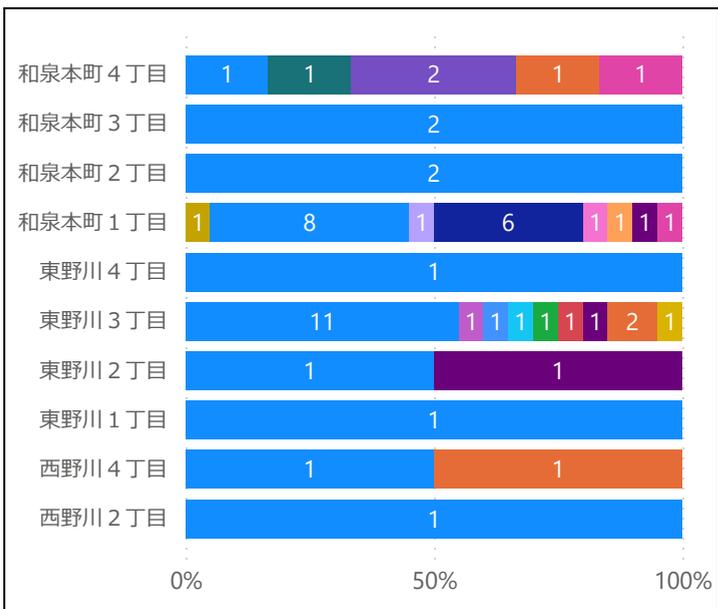
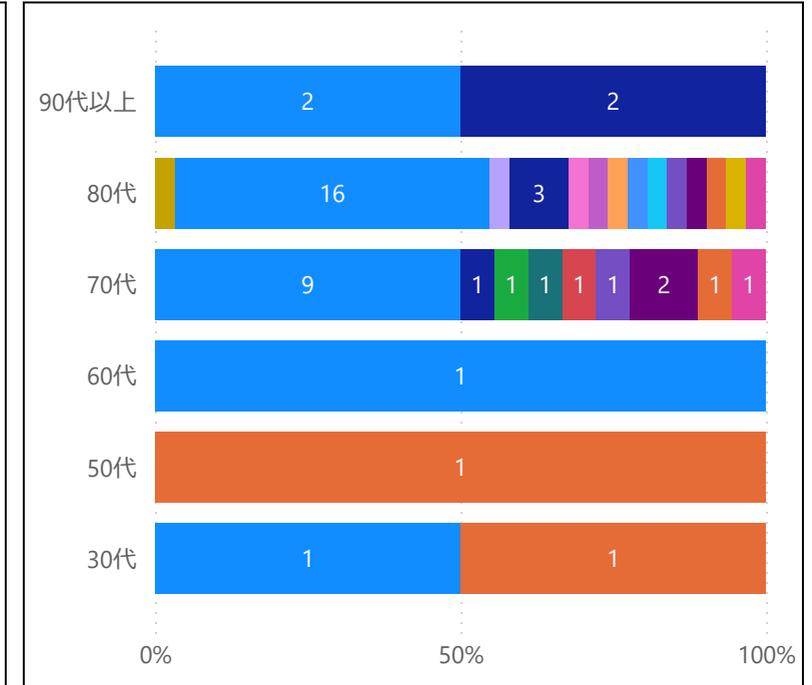
・利用頻度への住居形式の影響は、明瞭には現れてはいない。



・利用頻度への世帯構成の影響は、明瞭には現れてはいない。



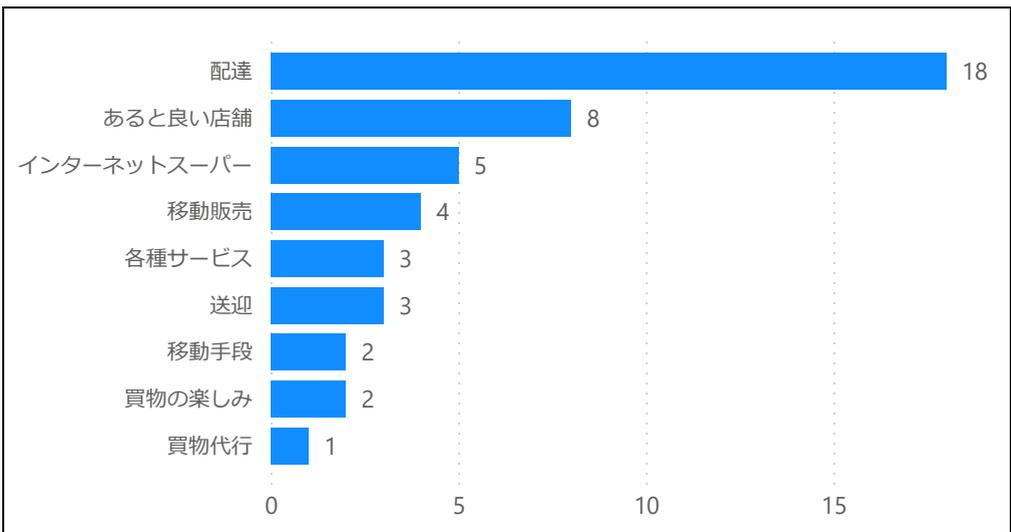
- ・最も利用されているサービスは生協の宅配であり、これに大手スーパーのサービス（宅配等）が続く。
- ・70代・80代は絶対数こそ少ないものの、様々なサービスが利用されており潜在的なニーズの大きさが伺われる。
- ・比較的大きな集合住宅のある東野川3丁目と和泉本町1丁目では、利用されている買い物支援サービスの種類が多い。



【問12】あなたがよく利用している、もしくはあったらいいなと思う「買い物に関するサービス」がありましたらおしえてください。

ご利用中のサービスは具体的な店の名前を書いていただいて構いません。（自由記述）

- ・「特にない」等の回答や趣旨から外れる回答を除外した上で、カテゴリ分けした集計結果と代表的回答を右に示す。
- ・最も多い回答は「配達」に関するものであり、「あると良い店舗」「インターネットスーパー」「移動販売」が続く。
- ・買い物サービスの課題としては、【配達】サービス利用が可能な購入金額の高さ・電話注文、【インターネットスーパー】インターネット利用・品揃え、【送迎】サービスの周知、【買い物代行】気を遣う、などが挙げられている。
- ・なお、現存のサービスを知らずに「あったらよい」と回答している場合もあると考えられ、サービスの周知は重要な課題と考えられる。
- ・送迎や移動支援に関しては、ゴルフカートによる送迎、バス整備、店内のエスカレーターなどが挙げられている。
- ・また、買い物自体の楽しみ、コミュニケーションなど、リアルな店舗に固有の機能も期待されている。



**配達**

---

電話で注文できてそれを配達してくれるサービス

店舗で購入した商品を配達してくれるサービスについては、配達してくれるために買わないといけない料金が低い。

大きくて重い物を配達して欲しい（スーパー）

**あると良い店舗**

---

文具店

大型ショッピングセンター。衣食住に関するものが揃う。

大きなカフェ

近く5分以内に野菜・魚店があったらいいなと思います。

ブックセンター(本屋さん)高架下にオープン希望します。ちょっとお茶飲みマクドナルド...

コンビニが近くに欲しい

**移動販売**

---

人が集まりやすい団地の公園や路上で移動販売で野菜などを売りに来てくれるとスーパーなどに直接行かなくても便利と思う。又は、オーケーなどで売っているお弁当などを車で売りに来てくれると利用する人も多いと思います。パンなども手軽に買えると思うので、パンも販売すると思います。重たい牛乳やお醤油、味噌など必需品も移動販売があれば嬉しいと思います（移動スーパーは近くにあれば利用したい）。

**各種サービス**

---

魚の数を多くしてほしい（いなげや）

高齢者割引サービス

買う品物を探していると教えてくれる。物により内容を説明してくれる。（平安堂）

**送迎**

---

いなげやさんの駐車場の所からゴルフ用のカートみたいなのがあれば嬉しいです。

送迎サービスは年齢的に自転車に乗れなくなった時に情報を知っていれば利用するかもしれません。

**移動手段**

---

市内のバス整備希望

下りエスカレーターが欲しいです。（いなげや）

**買物の楽しみ**

---

買物の楽しみとコミュニケーションの場が融合されたらありがたい

コーヒーを飲みながら人々と会話が楽しめる。

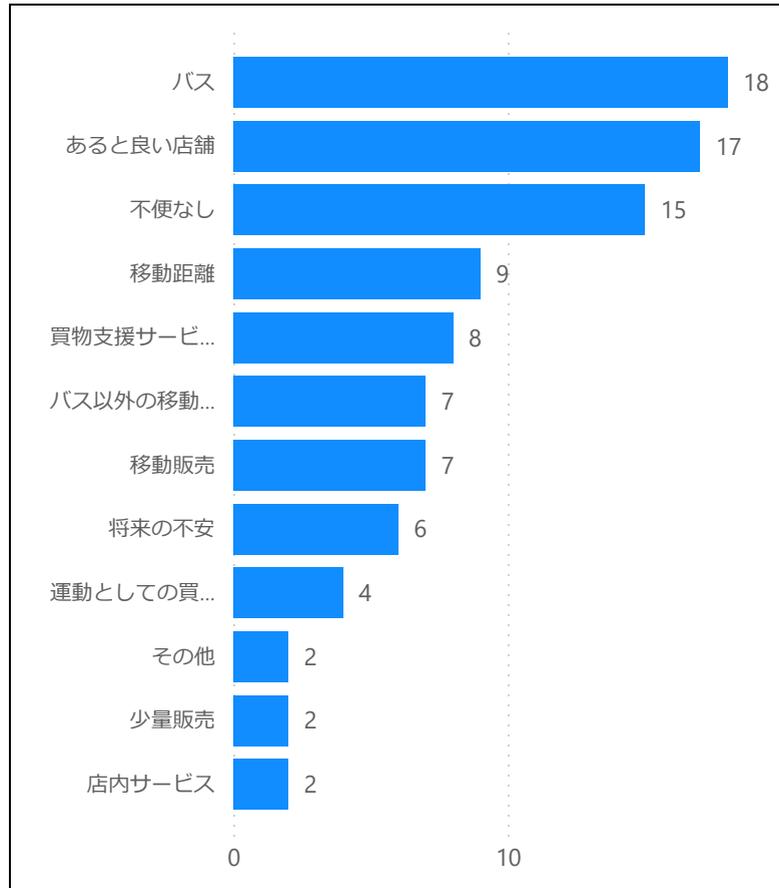
**買物代行**

---

買い物代行のサービスは気を遣う感じがすると思う（お支払いする金額などもわからない）。

【問13】 その他、お住まいのエリアでの買い物環境についてご意見・ご要望などがありましたら自由にご記入ください。 (自由記述)

- ・カテゴリ分けした集計結果と代表的コメントを右に示す。
- ・多いのは移動に関する意見であり、中でもバス関係が最も多い。特に、減便による不便やこまバス増便の必要性が訴えられている。これは狛江ハイタウンの回答者が多いことが反映されている可能性が高い。
- ・また、店舗への移動距離の遠さや、バス以外の移動手段の問題（タクシーの減少や駐輪場の少なさ等）も挙げられている。
- ・あると良い店舗や買い物支援サービスに関する意見は、概ね問12と同様であるが、買い物支援サービスでは特に移動販売に関する意見が多い。
- ・買い物に関して将来の不安を訴える声が見られる一方、運動としての買い物をポジティブに捉える回答も見られる。
- ・店内サービスについては、セルフレジや配置変更に関する不満、少人数家族のための少量販売の必要性等が訴えられている。
- ・買い物弱者に直接関係しないその他の問題としては、フードロスや、医療アクセス（バス減便による通院の困難さ等）等が挙げられている。



### バス

「つつじが丘」から「ハイタウン折り返し」までの京王バスが運行中止になったので多大な不便を被っている。

狛バスをハイタウンの川沿い（野川）を回る様にして頂けるとお年寄りの方々が大変助かりますので是非ともご検討よろしく申し上げます。テニスコート前を通り小鹿幼稚園を回って川沿いを通り右に行けばいなげやの方に行けますのでよろしく申し上げます。

### あると良い店舗

ショッピングモールのような複合施設（ショップ、公的機関、銀行など）があるといいです。

ハイタウン内やすぐ近くにコンビニか小規模スーパーが出来たら良いと思います。

衣料品店が近くにあるとよい

近くにスーパーがほしい。

狛江市は商店街が少ない。食事をする所がない。喫茶店が少ない。市民の憩いの場がない。交通の便はよいが、生活するには不便な街である。市行政全てが貧困である。

### 不便なし

お店が近くにあるから不便は感じない

### 移動距離

スーパーまでの距離があり、多くの量が買えない。

徒歩5分以内にスーパーがあったらよいと思う。

### 買物支援サービス

今は元気で自転車に乗って買い物にいけますが、いつまでそれができるかわかりません。移動スーパー、ネットスーパー（少量、少額の買い物でも手頃な手数料で届けてくれるところ）などがあると大変助かると思います。

### バス以外の移動手段

22

歩行困難な方はタクシーを使っているようですが最近ではなかなかタクシーも来てくれないのでは？と不安です。交通手段があれば安心です。できる限り自分で買い物したいと思っています。

自転車置き場が少ない

### 移動販売

マンション内に週に2回移動スーパーがきてくれたらありがたいと思う。

### 将来の不安

今は自転車、自動車という手段を自分で使えるので大丈夫ですが、それが不可能になった時、近くに利用できるバスが通ってないので不安です。

### 運動としての買物

運動のつもりで買い物をしています。

### 店内サービス

店ごとにセルフレジの方法が異なり使い辛い。(極力避けている) 店内の配置が2~3年おきに変わり、よく迷う。(特にいなげや1F)

### 少量販売

人数が少ない家族です、小分けの商品を多くして欲しい。

### その他

今回は買物だけですか？皆さん、医療関係も困っているのでは？

フードロス 気になります